

# 平成 30 年度中小企業金融実態調査結果概要

平成 30 年 8 月 16 日  
富山県商工会連合会

## I. 調査目的

県下商工会地区における中小企業・小規模企業等の経営概況や金融に関する動向等を把握し、中小企業金融の円滑化に資するための基礎資料を得ることを目的として調査を実施した。

## II. 調査対象および方法

商工会地区の中小企業・小規模事業者のうち、1, 100 企業を無作為抽出し、商工会の経営指導員の面接により調査を行った。

## III. 調査時期および実施期間

調査書記入時点	平成 30 年 7 月 2 日現在
調査実施期間	平成 30 年 7 月 2 日～7 月 13 日

## IV. 回答状況

調査対象企業数	1, 100 社
回答企業数	1, 057 社 (回収率 96.1%)

## V. 調査結果の概要

ここ 1 年間の売上高は、前回比で増加企業が 3 ポイント増加 (47.2%)、減少企業は 2.7 ポイント減少 (51.9%) で、やや回復傾向だった。今後の見込みでも「売上増加」予想企業は増えている。採算面では黒字企業が 2.4 ポイント増加 (36.2%) したが、赤字企業も 1.5 ポイント増加 (20.8%) した。前回比でも、「好転」が 3.8 ポイント増加 (20.2%) の一方「悪化」も 3.1 ポイント増加 (27.5%) し、採算面では横這い状況だった。2019 年 10 月の消費税増税は「深刻～少し」の幅はあるが合計で 89.1% が「影響あり」と回答した。経営課題では、「販売の強化」「人材の確保・育成」「経費削減」が多く、「人材の確保・育成」「事業承継」「IT の活用」「設備投資」「資金調達・多様化」が前回比増加した。

金融機関の借入状況では、借入額が「減少 (51.8%)」が「増加 (26.3%)」を上回っており、減少傾向が続き、金利の低下傾向も続いている。今後の「借入計画あり」が 0.2 ポイント増加 (21.3%) だが「設備計画あり」は 1.4 ポイント減少 (19.4%) しており、資金需要は強くない。マイナス金利政策による金融機関の変化では「融資に積極的」が「消極的」を大きく上回った。借入の条件変更の難易度はやや下降し、金融機関の支援姿勢に変化はない。国・県・市の制度融資の全体評価は高いが、利用面ではやや減少傾向が続いている。保証協会利用は横這いだった。

最近の諸制度では、事業引継ぎ支援センターの認知度は高まっている。後継者対策では、約半数の企業が事業承継か廃業かを検討中で「後継者決定・候補はいる」は 26.2%だった。経営力向上計画(平成 28 年 7 月施行)は、21.3%(5.5 ポイント増加)が説明を希望している。

項目別の回答は次の通りである。

今回の特徴点 (前回・平成 29 年 7 月調査時点との比較)

## 1. 企業の営業の状況について

- (1) 年間売上高は、売上増加企業が 3 ポイント増加の 47.2%、売上減少企業が 2.7 ポイント減少の 51.9%となり、やや回復傾向だった。今後の売上高予想では、「増加する」との回答は 5.1 ポイント増加 (46.6%)、「減少する」は 4.6 ポイント減少 (52.2%) となり回復を予想する企業が増えている。業種別では、増加予想は運輸業、建設業、製造業、減少予想は、卸売業、小売業、飲食業・宿泊業の順で多い。
- (2) 採算の状況では、黒字企業は 2.4 ポイント増加の 36.2%で、赤字企業も 1.5 ポイント増加の 20.8%だった。前回比でも「好転」が 3.8 ポイント増加(20.2%)したが、悪化も 3.1 ポイント増加(27.5%)し、採算面は横這い傾向である。
- (3) 10~12 月の資金繰り予想では、「変わらない」が 50%、「大変苦しくなる」と、「苦しくなる」の合計は 24.8%で、前回比 0.5 ポイント減少した。苦しくなる業種では、小売業、卸売業が多い。苦しくなる要因は、「売上高予定額未達」と「利益が予定に達しない」の割合が圧倒的に高い。ついで「借入返済が大きいい」「経費の増大」となっている。
- (4) ここ 1 年間に、元請等との取引条件に変化があると回答した企業は、16.3%(2.9 ポイント増加)で、「販売先からの価格の引き上げ」が 3.2 ポイント増加(10.8%)した。「あまり変化はなかった」が 81.6%(2.8 ポイント減少)だった。
- (5) 2019 年 10 月の消費税増税の影響予想では、「深刻」「かなり」の合計で 49.9%、「少し」を加えると 89.1%が影響を予想している。
- (6) 経営課題では「販売の強化」(54%)、「人材の確保・育成」(42.1%)、「経費削減」(33.2%)が多かった。

## 2. 金融機関との取引及び借入状況について

- (1) 昨年 12 月末と比べ、借入額では「減少」が 51.8%で「増加」の 26.3%を上回り、減少傾向が続いている。「借入なし」は 28.2%となり、前回比 3.2 ポイント増加した。

- (2) 最近6ヶ月間の借入申し込みを「した」は38.8%で、借入金利は「下がった」が12.7%で「上がった」の2.3%をかなり上回り、借入金利の低下傾向は続いている。借入の満足度は、満足と回答した企業の割合は94.1%で高水準である。「満足できなかった」は1.6ポイント減少の1.7%だった。
- (3) マイナス金利政策による金融機関の姿勢の変化では、「融資に積極的」が20.4%で「消極的」の2.7%を大きく上回った。「変わらない」が76.3%でやや減少した。
- (4) 「貸し渋り」の有無は、「ある」が6.7ポイント増加の11.6%で、減少傾向が反転した。「貸し渋り」の複数回答では「追加融資不可」「既往貸付の回収」「保証協会の付保」の順に多い。
- (5) 借りにくい、借りられない理由では、「借入残高が多い」「業績が思わしくない」の2項目が主な要因となっている。
- (6) 借入返済の条件変更に対しては、「希望する」企業が0.5ポイント減少の10%で、希望する条件変更は「返済期間の延長」「元金返済の一時据置(猶予)」「長期資金への切替」の順は変わらない。条件変更の難易度では、「容易である」と「交渉次第で何とかなる」で12.5ポイント増加の73%となる。「難しい」は9.5ポイント減少の18.9%だった。
- (7) 金融円滑化法終了後の審査については、「借りやすくなった」「変わらない」「厳しくなったが融資を受けられた」の合計は93.2%で前回は0.6ポイント増加、金融機関の支援姿勢に変化はない。
- (8) 今後の借入計画(1年間)では、「ある」と回答した企業は0.2ポイント増加(21.3%)した。設備資金では、「計画あり」が1.4ポイント減少の19.4%で、資金需要は強くない。
- (9) 借入時の重視事項では、「金利が低い」「条件が有利」の直接条件が重視されているが、「日頃のつきあい」や「経営上の相談が得られる」の間接条件も重視されている。
- (10) 借入を考える場合の懸念材料では、「借入後の返済力(63.6%)」「業況の先行見通し難(54.7%)」の2項目が依然高水準である。「金融機関の対応」は20.4%で6.4ポイント増加した。

### 3. 融資制度について

- (1) 国・県・市町村の融資制度の過去1年以内の利用状況は、前回調査と比べると「利用がある」は23.8%(0.5ポイント減少)、「利用がない」は0.1ポイント減少の74.6%となった。融資制度について、手続きの簡素化、情報の提供、借入額の増額等の希望意見があった。

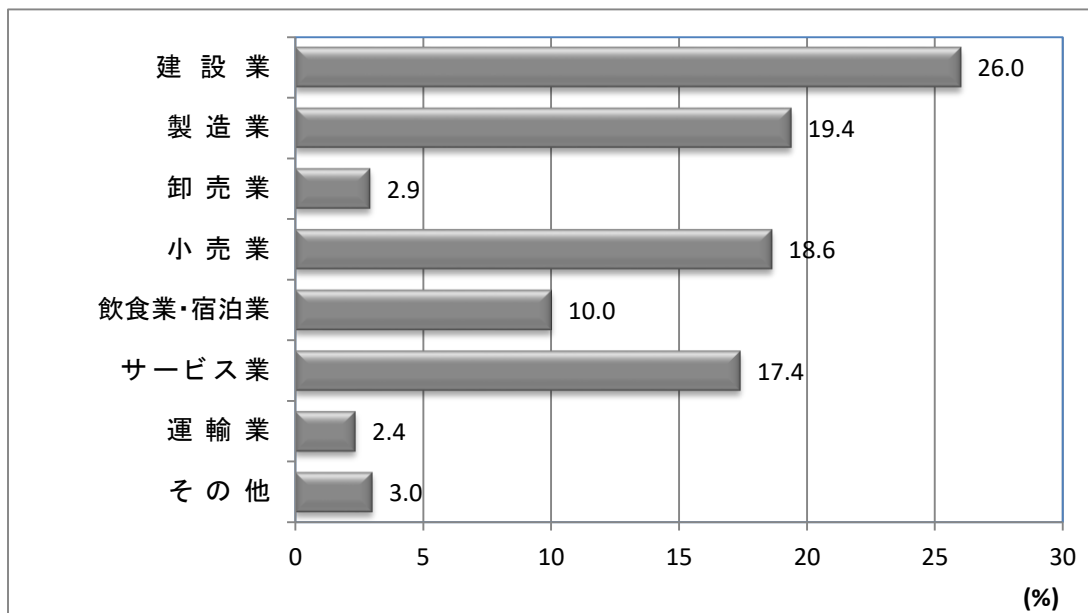
- (2) 国や県、市町村の融資制度は、「経営の役に立っている」と回答した企業は 98.4% を占めた。「利用しなかった理由」として、「利用する必要がなかった」が 57.4% 「制度融資を知らなかった」が 6.3% だった。
- (3) マル経融資は「(大変)役に立っている」が 49.2% だが、「知らなかった」は 25% あった。
- (4) 信用保証協会の保証利用は前回比横這いの 17.8% だった。  
「円滑に融資が受けられた」と「少し難しかったが受けられた」の合計は 97.9% の高い水準だった。
- (5) 保証協会の融資態度の変化については、「変わらない」は 80.3% と高い。「意見交換」「対応が丁寧」の評価意見が合計で 0.5 ポイント増加の 12.8% となり、「審査が厳しくなった」が 0.5 ポイント減少の 1.1% となった。  
他に、保証料、金利の引下げの希望があった。

#### 4. 最近の諸制度について

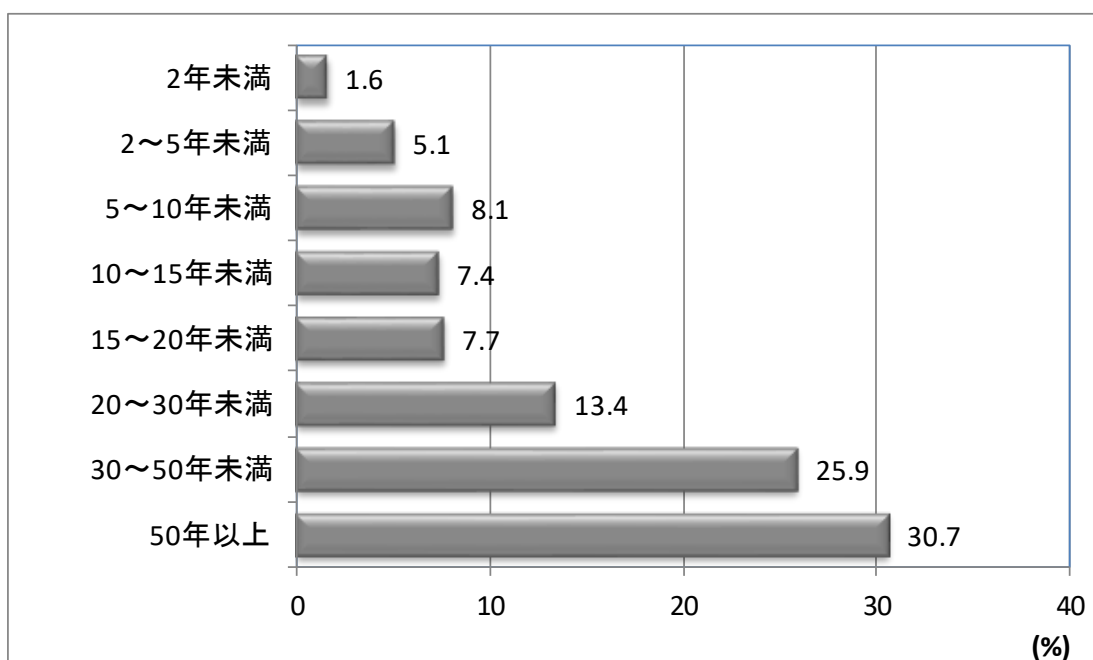
- (1) ビジネス創造支援事業の専門家派遣では「利用した」「相談したい」「説明を受けたい」の合計が 1.3 ポイント増加の 19.5% で、「関心はない」は 0.1 ポイント減少の 76.8% となった。
- (2) 事業引継ぎ支援センターを「知っている」は 8.4 ポイント増加の 23.2% で、認知度は高まっている。  
後継者の対策では、「事業承継も廃業も必要なし」と「事業承継も廃業も検討していない」の合計は 49.8%。残る全体の約半数が事業承継か廃業を検討中で、うち「後継者決定」「後継者候補がいる」の合計は 26.2% だった。
- (3) 最近の補助金制度については、「すでに活用している」「今後、申請予定」の合計が 27.2%(2.4 ポイント増加)となった。「説明を受けたい」は、0.8 ポイント減少の 16.1% で認知度は高まっている。
- (4) 経営力向上計画では、「申請・認定を受けた」と「説明を受けたい」の合計が 25.3%(7.1 ポイント増加)で、関心は増加傾向である。

## 1 回答企業の概要

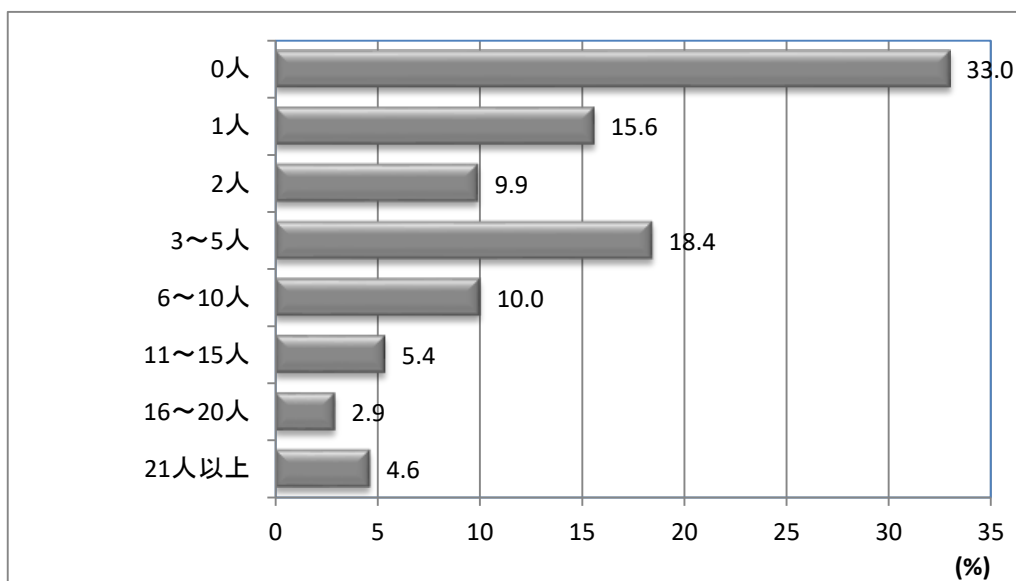
### (1) 業種



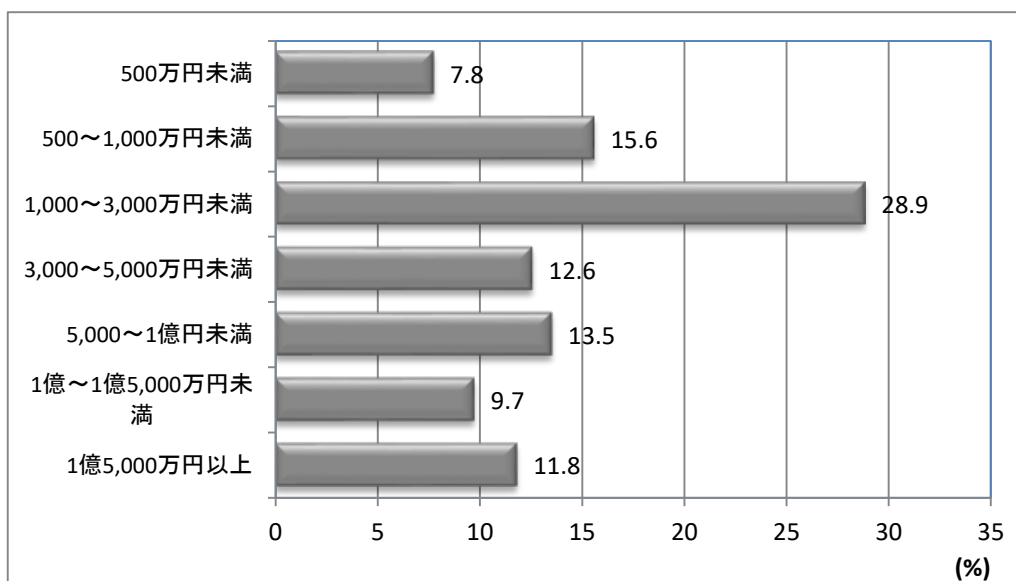
### (2) 創業してから何年



### (3) 常用従業員



### (4) 年間売上高

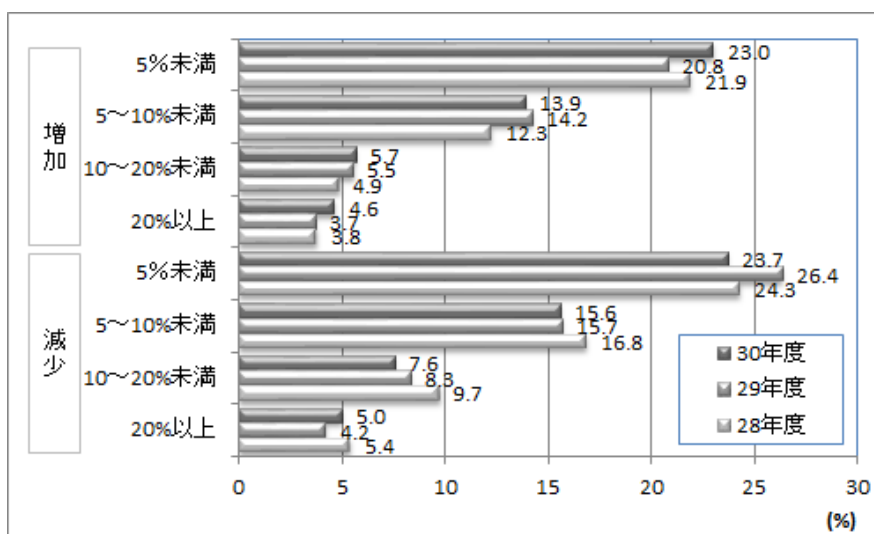


## 2 営業の状況

### (1) 年間売上高の増減率（対前回比）

売上増加企業は、前回比3ポイント増加の47.2%となった。売上減少は前回比2.7ポイント減少の51.9%となった。

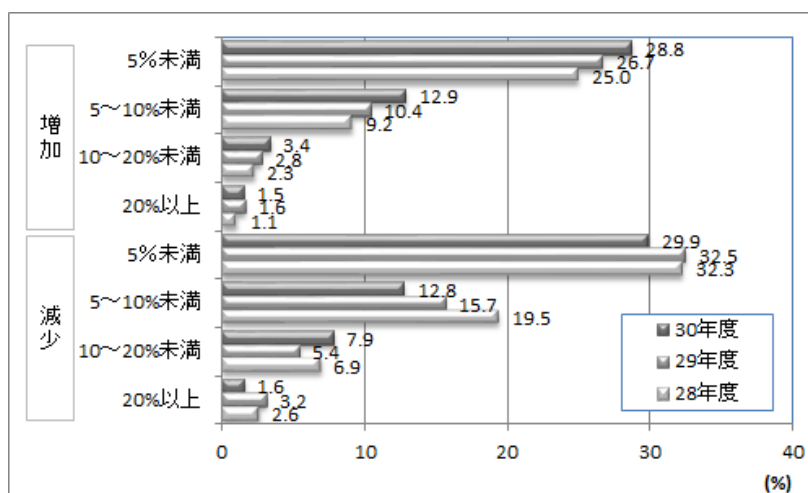
業種別に見ると、「増加」は、運輸業、建設業が多く、「減少」は小売業、飲食・宿泊業、卸売業の順が多い。従業員規模別では、「0～2人」の小規模企業の減少が多く、比較的大きいクラスが増加し、全体では、やや回復傾向である。



### (2) 今後の売上高予想

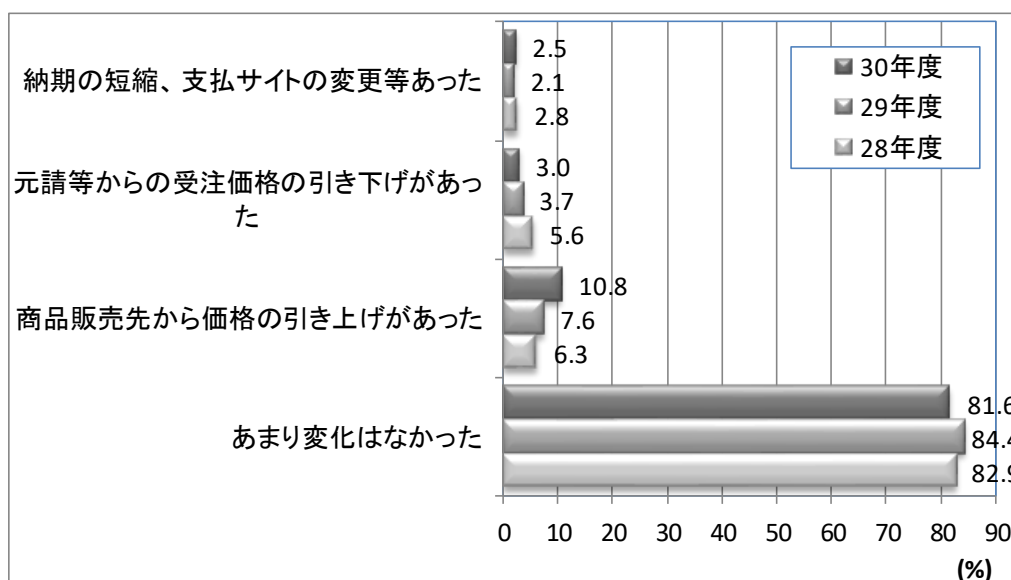
今後の景気の先行きを踏まえた売上高予想の質問に対して、増加すると回答した割合は全体の46.6%で前回比5.1ポイント増加した。減少すると回答した割合は全体の52.2%で、前回より4.6%ポイント減少した。

業種別に見ると運輸業、建設業、製造業が「増加」が「減少」を上回り、「減少」予想は卸売業、小売業、飲食・宿泊業の順に多かった。従業員規模別では、「0～5人以下」の減少予想が多く、「6人以上」のクラスの「増加」予想が多かった。



### (3) 取引条件の変更状況

ここ1年間の商品販売先、工事元請先、製造発注元等との取引条件の変更状況では81.6%があまり変化はなかったと回答。前回比2.9ポイント増加の16.3%の企業がなんらかの取引条件の変更を強いられている。業種別では卸売業、小売業、飲食・宿泊業の順で条件変更があった。

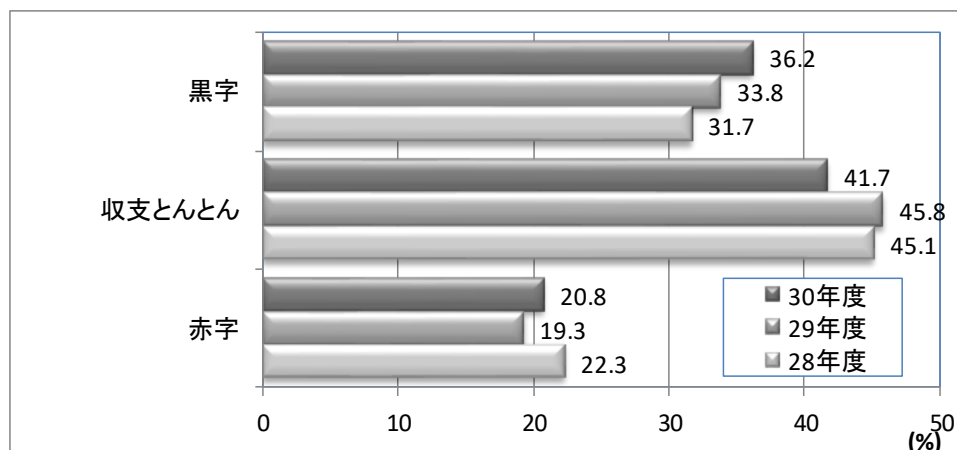


### (4) 採算の状況

#### ア、現在の採算状況

黒字と回答した割合は36.2%と前回比2.4ポイント増加した。赤字と回答した割合は20.8%と前回比1.5ポイント増加し、収支とんとは前回比4.1ポイント減少した。黒字企業を業種別にみると建設業、運輸業、製造業、赤字企業では卸売業、小売業の順になっている。

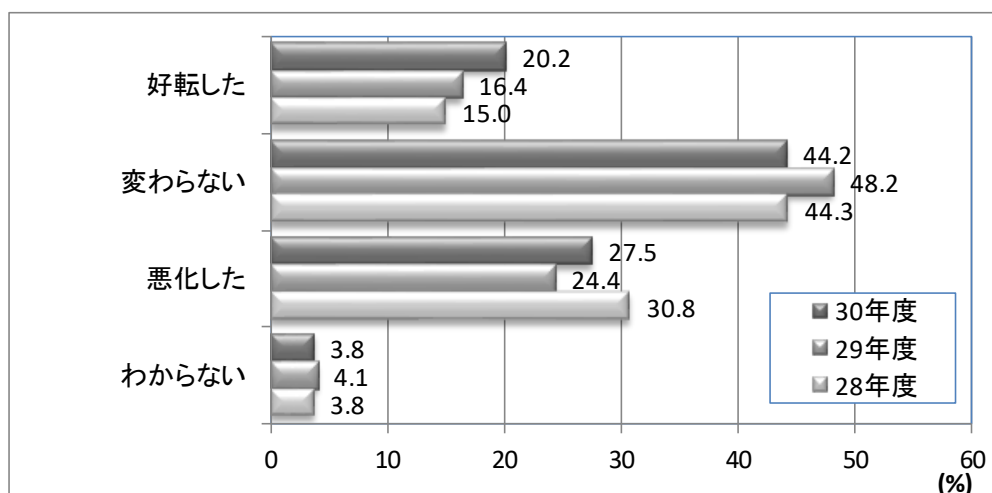
また従業員規模別での黒字企業は、「16~20人」「11~15人」「21人以上」の順で比率が高く、比較的従業員の多い規模で黒字企業の割合が高い。





### イ、採算状況（対前回比較）

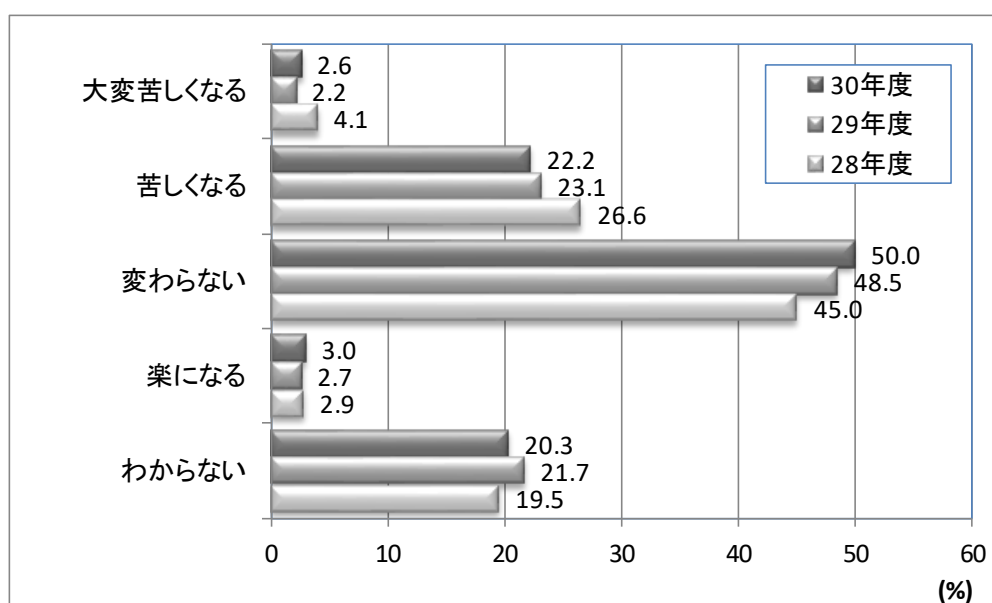
採算状況は、「好転した」が3.8ポイント増加(20.2%)したが、「悪化した」も3.1ポイント増加(27.5%)した。変わらないは4ポイント減少(44.2%)した。業種別では、運輸業、建設業が「好転」割合が高く、「悪化した」のは小売業、卸売業、飲食・宿泊業、の割合が高かった。



### (5) 資金繰り状況

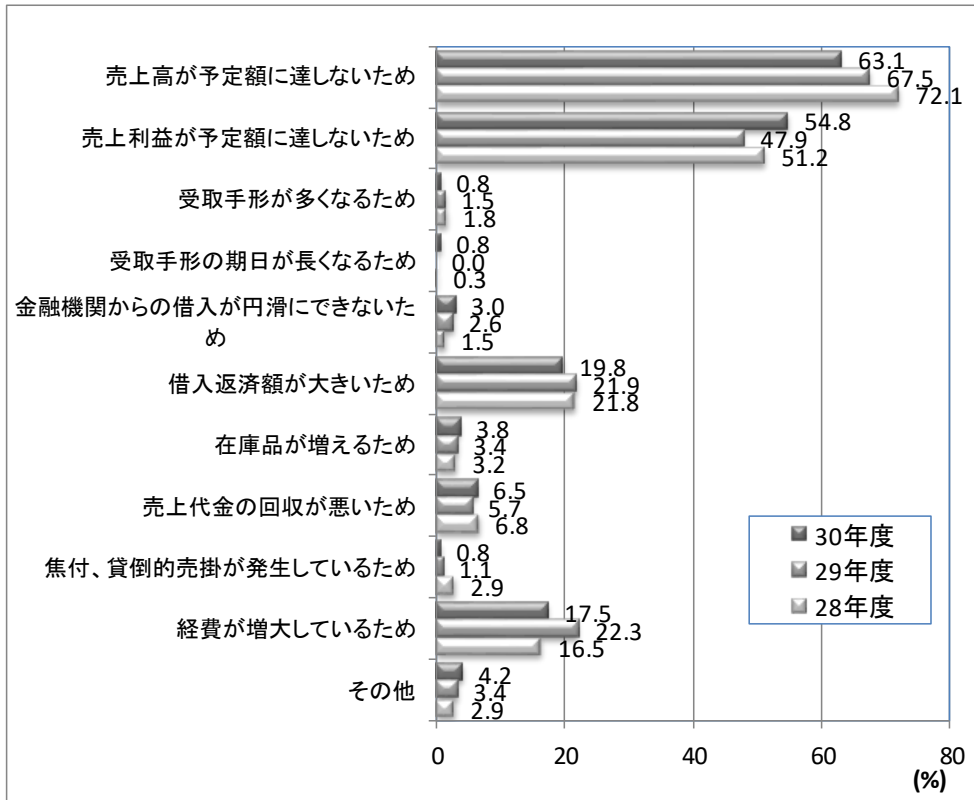
#### ア、今年10～12月の資金繰り予想

「大変苦しくなる」と「苦しくなる」の合計では、前回より0.5ポイント減少の24.8%となる。「変わらない」が1.5ポイント増加して50%。「楽になる」は前回より0.3ポイント増加の3%に止まった。「大変苦しくなる」「苦しくなる」を業種別でみると、小売業、卸売業の順で高い。



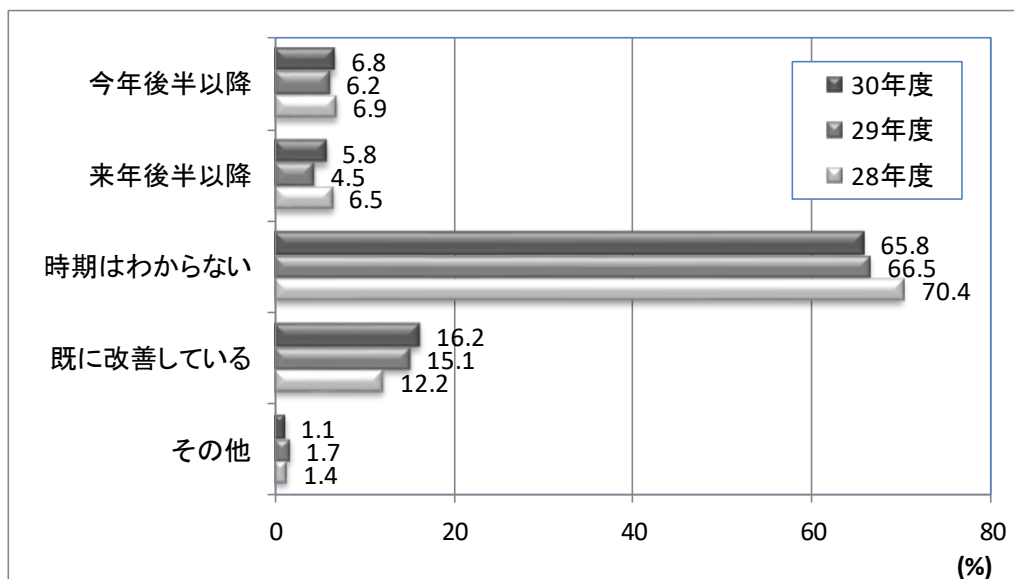
### イ、資金繰りが苦しくなる原因（2つ以内で回答）

「苦しくなる」理由は、「売上が予定額に達しない」と「売上利益が予定額に達しない」が大きな割合を占め、ついで「借入返済が大きい」「経費の増大」となっている。



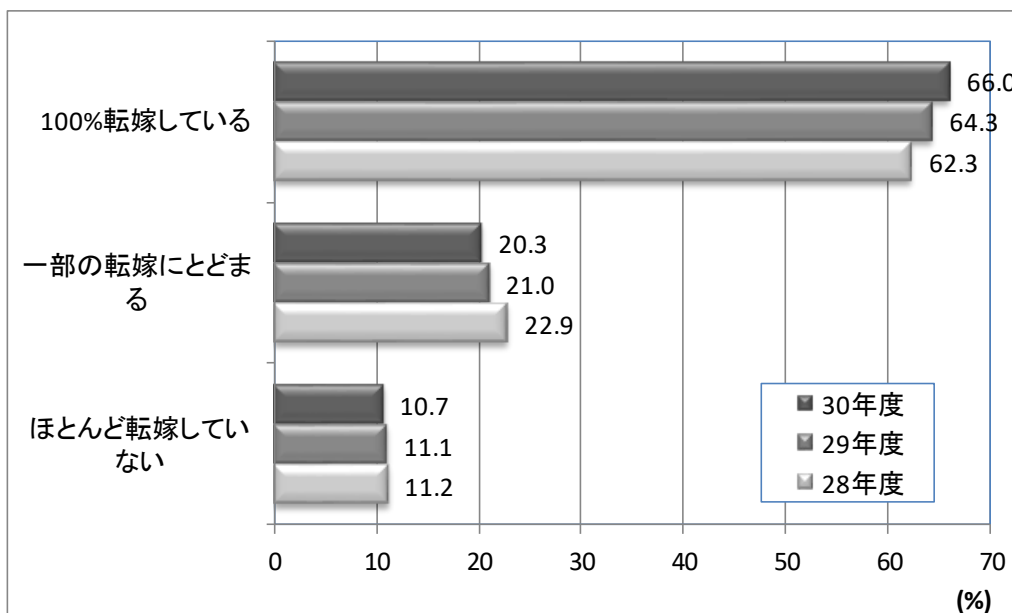
### ウ、資金繰りが改善する時期

改善する時期は、「時期がわからない」が65.8%で0.7ポイント減少し、すでに改善しているが1.1ポイント増加の16.2%だった。



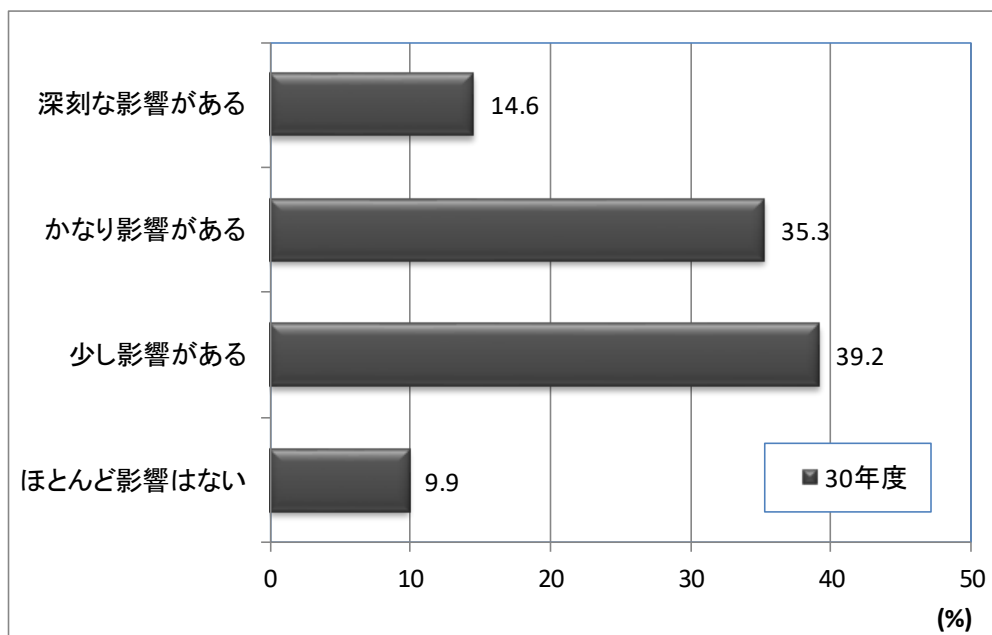
#### (6) 2014年4月の消費税増税の転嫁の状況について

「一部の転嫁にとどまる」と「ほとんど転嫁していない」の合計は31%と1.1ポイント減少した。業種では飲食・宿泊業、卸売業、小売業、サービス業が多い。100%転嫁企業の業種別では、運輸業、製造業が多い。



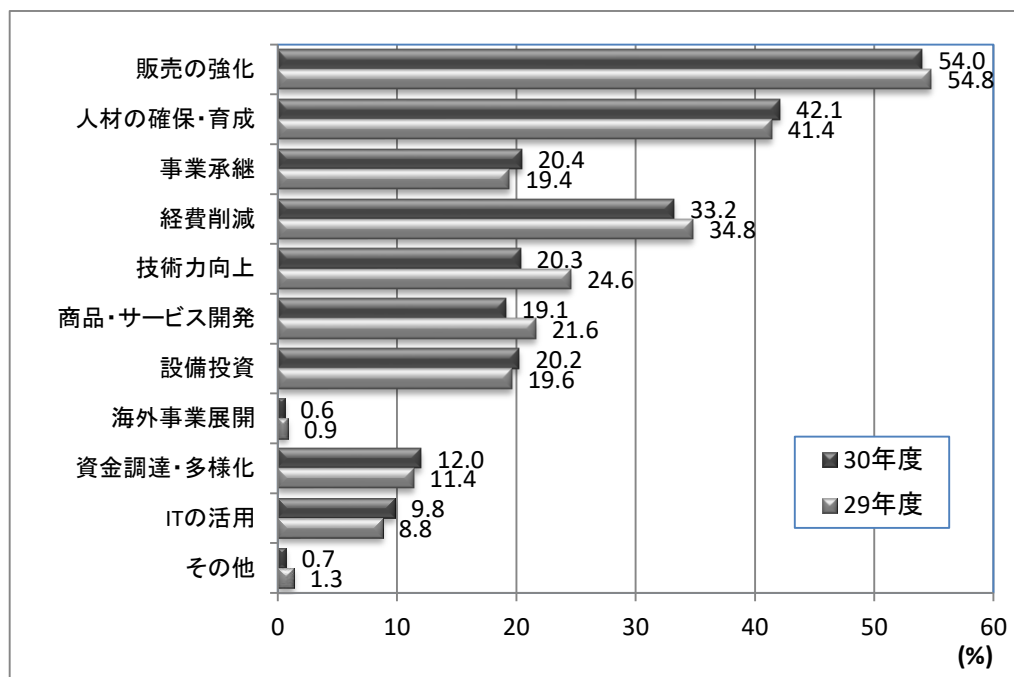
#### (7) 2019年10月の消費税増税の影響予想について

「深刻な影響」と「かなり影響がある」で49.9%、「少し影響がある」を加える89.1%が影響ありと予想している。「深刻な影響」の業種別では卸売業、運輸業、飲食・宿泊業の影響予想が多く、従業員規模別では小規模クラスほど危機感が大きい。



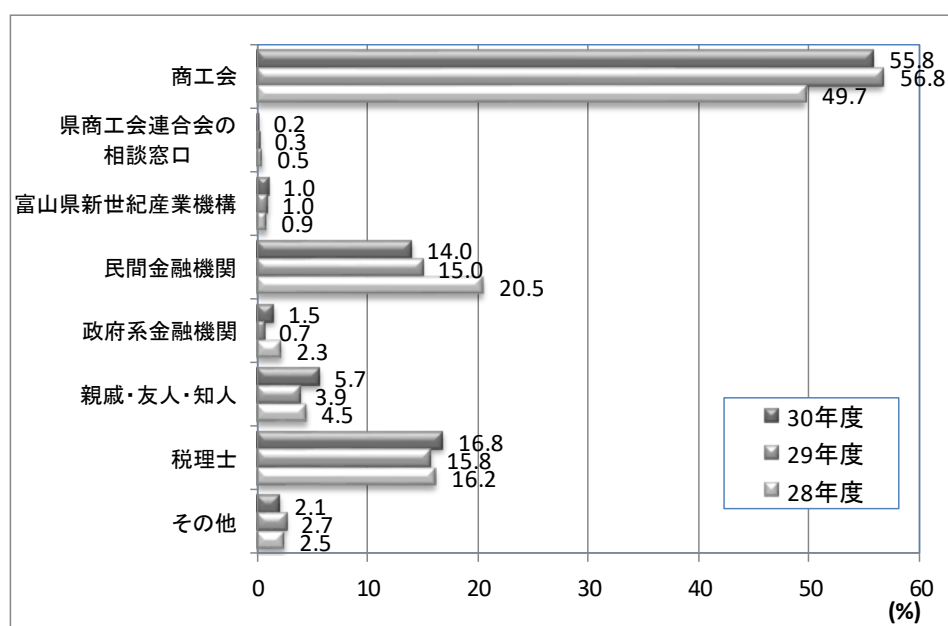
(8) 現在の経営課題について (3つ以内回答)

「販売の強化」「人材の確保・育成」「経費削減」が大きい課題である。前回比較では「人材の確保・育成」「事業承継」「ITの活用」「設備投資」「資金調達・多様化」が増加した。表以外では、新規事業、顧客の維持、店舗移転等があった。



(9) 経営が著しく悪化した場合の相談先

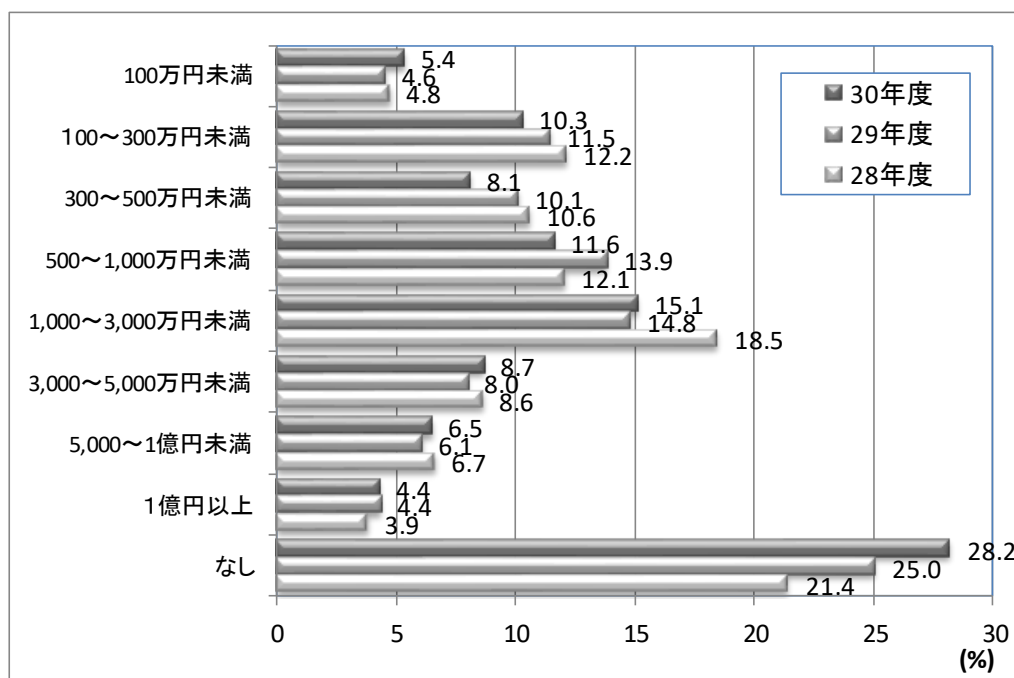
先行きに問題が生じたとき、相談に行くところでは商工会、税理士、民間金融機関が多かった。その他では、経営コンサルタント、先輩経営者、同業者、社会保険労務士等があげられた。



### 3 金融機関との取引状況 等

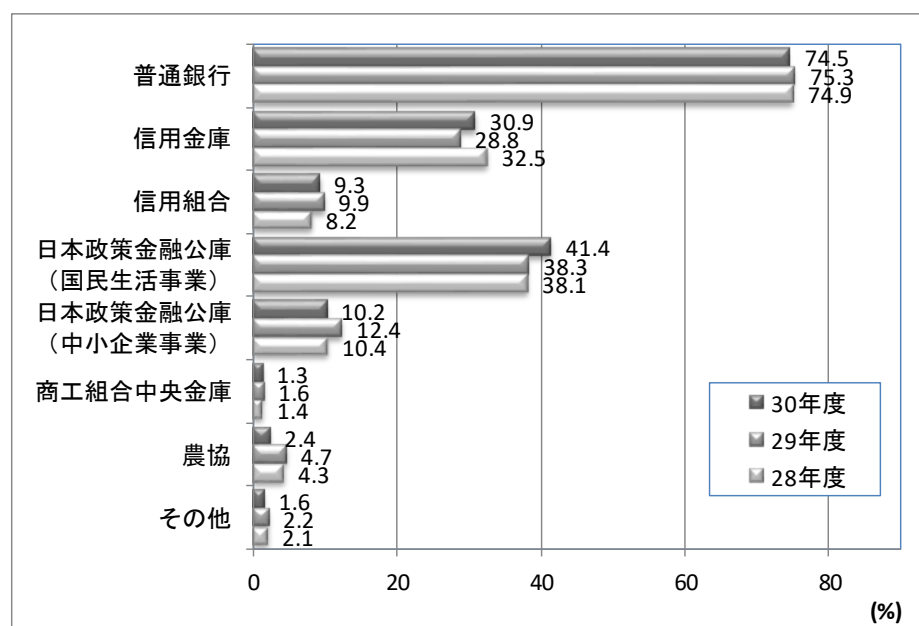
#### (1) 本年6月末の借入額はどのくらいありましたか

「借入なし」は3.2ポイント増加の28.2%で、業種別では小売業、卸売業、サービス業の順が多かった。



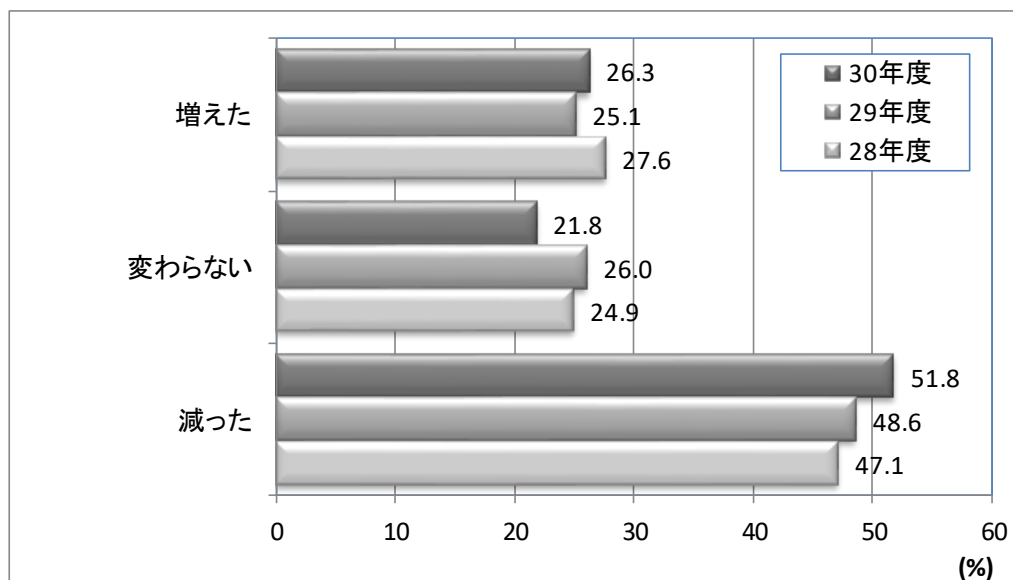
#### (2) 現在の借入先はどこですか (多い順に3つ回答)

普通銀行が74.5%、日本政策金融公庫(国民生活事業)が41.4%。信用金庫が30.9%、信用組が9.3%で、前回比シェアの変化は少ない。



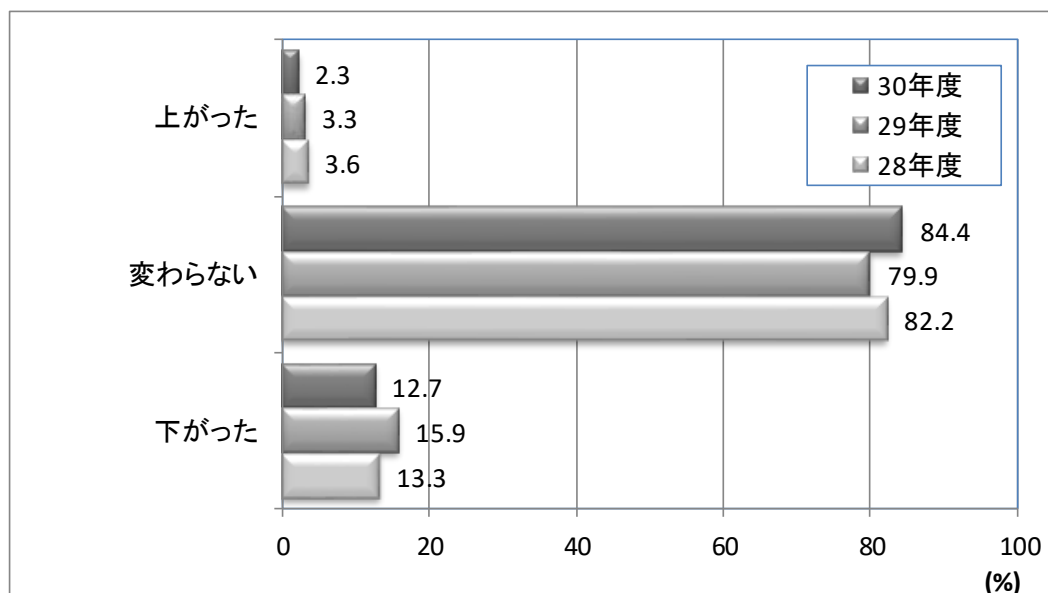
### (3) 借入額増減は（昨年12月頃に比べて）

「増えた」26.3%、「減った」51.8%、「変わらない」21.8%となった。「減った」が「増えた」を9年連続で大幅に上回った。「減った」企業の割合は飲食・宿泊業、サービス業、小売業の順だった。



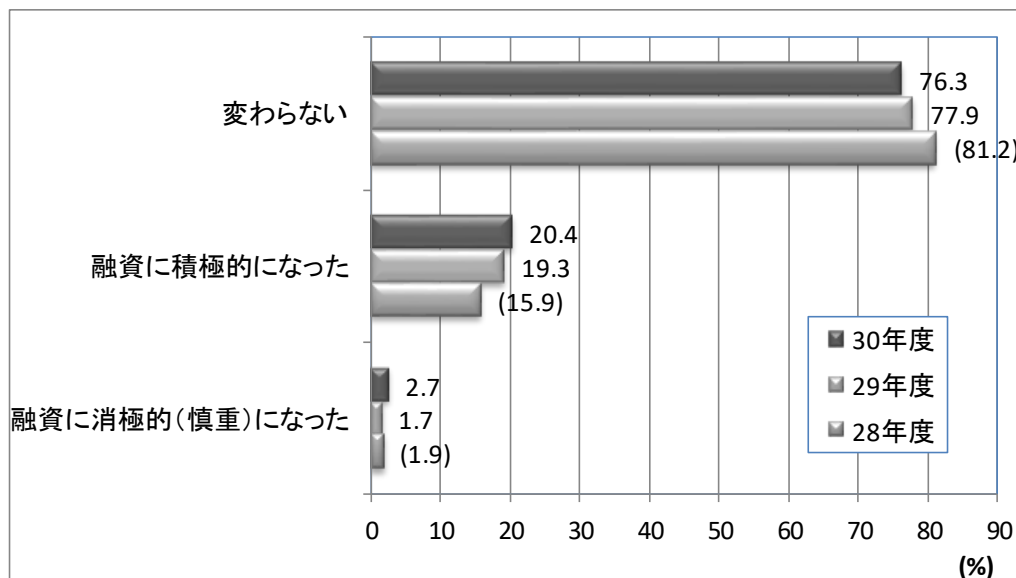
### (4) 金利は（昨年12月頃に比べて）

「下がった」は12.7%で、「上がった」割合2.3%を上回っており、低下傾向は続いている。また、「変わらない」が4.5ポイント増加し84.4%となった。



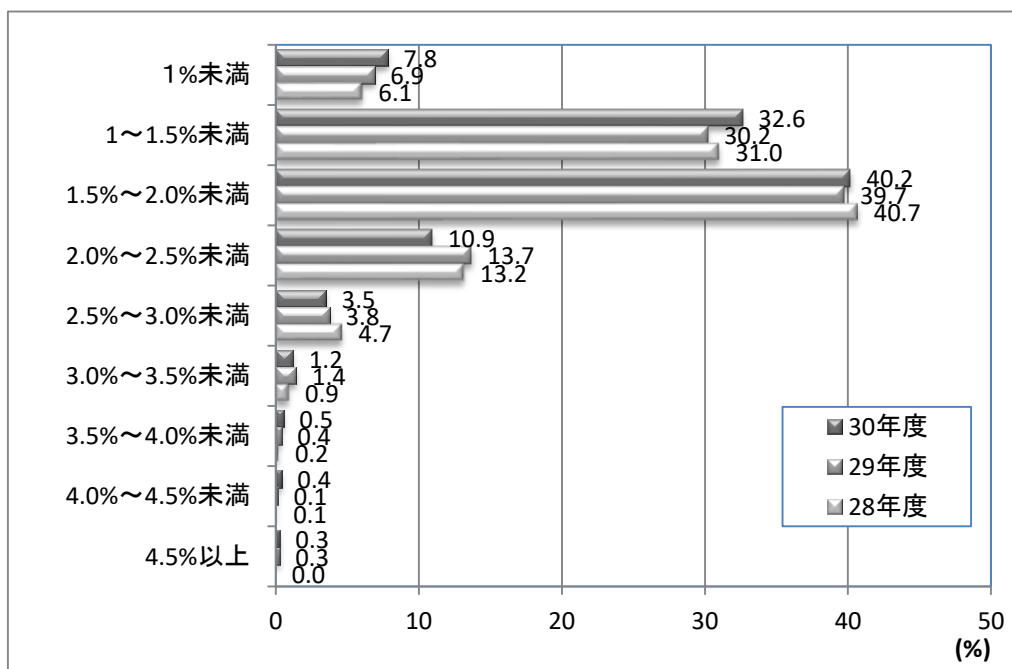
(5) 平成 28 年 2 月の日銀のマイナス金利政策で金融機関の姿勢に変化はありますか

「融資が積極的になった」が 1.1 ポイント増加の 20.4%で、「消極的になった」の 2.7%を大きく上回った。変わらないが 76.3%だった。



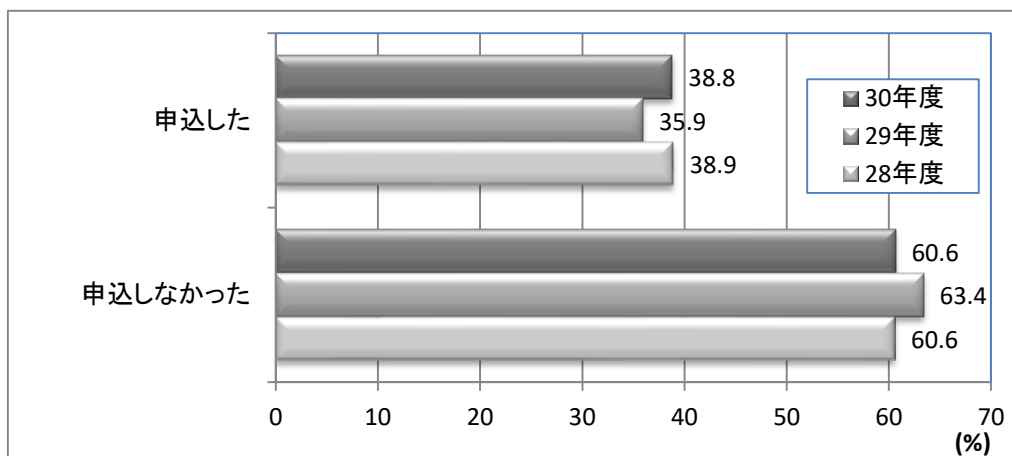
(6) 現在の借入金利（平均）

平均金利は、「1.5%～2.0%未満」が最も多い。「1.0～1.5%未満」が 2.4 ポイント増加、1%未満は 0.9 ポイント増加し、平均金利は下方に移行している。3.0%以上の借入金利割合は全体の 2.4%だった。



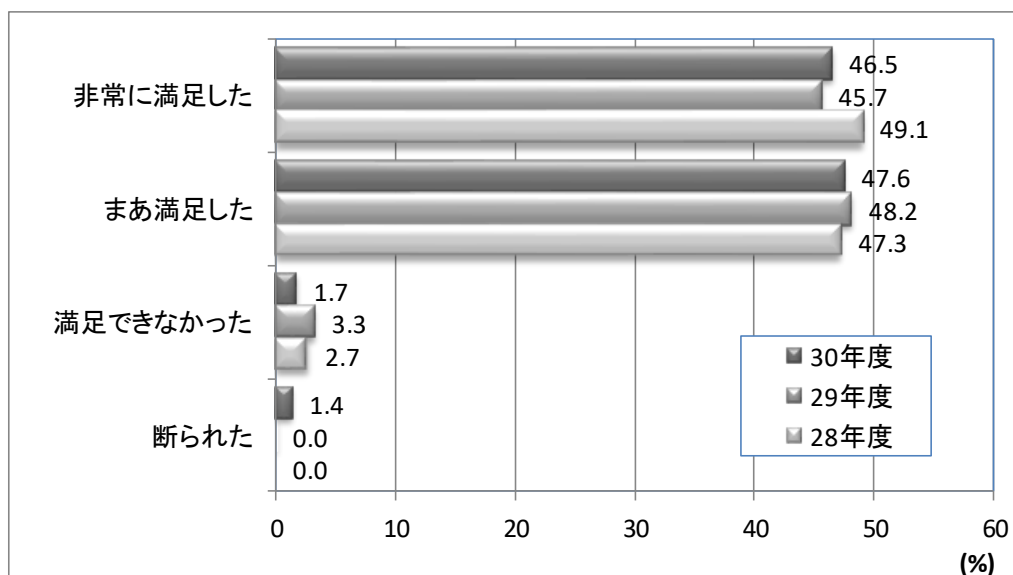
### (7) 最近6ヶ月間の借入申込（借入申込実績）

「申込した」割合は前回比 2.9 ポイント増加の 38.8%だった。業種別では卸売業、建設業、の順で 40%以上の割合で借入申込をしたと回答。「申込しなかった」は 2.8 ポイント減少し、業種では飲食・宿泊業、小売業、運送業が多かった。



### (8) 借入の満足度

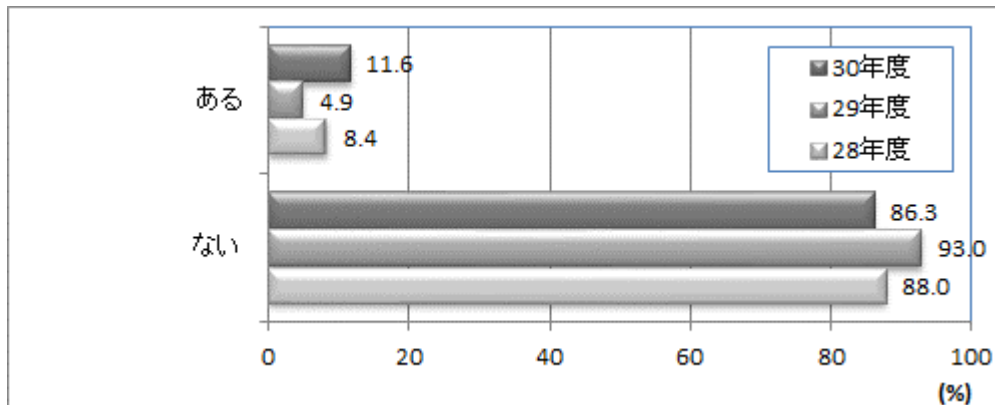
「非常に満足」「まあ満足」の合計は、0.2 ポイント増加の 94.1%の高水準だった。「満足できなかった」は 1.6 ポイント減少の 1.7%だった。「断られた」は 4 件だった。





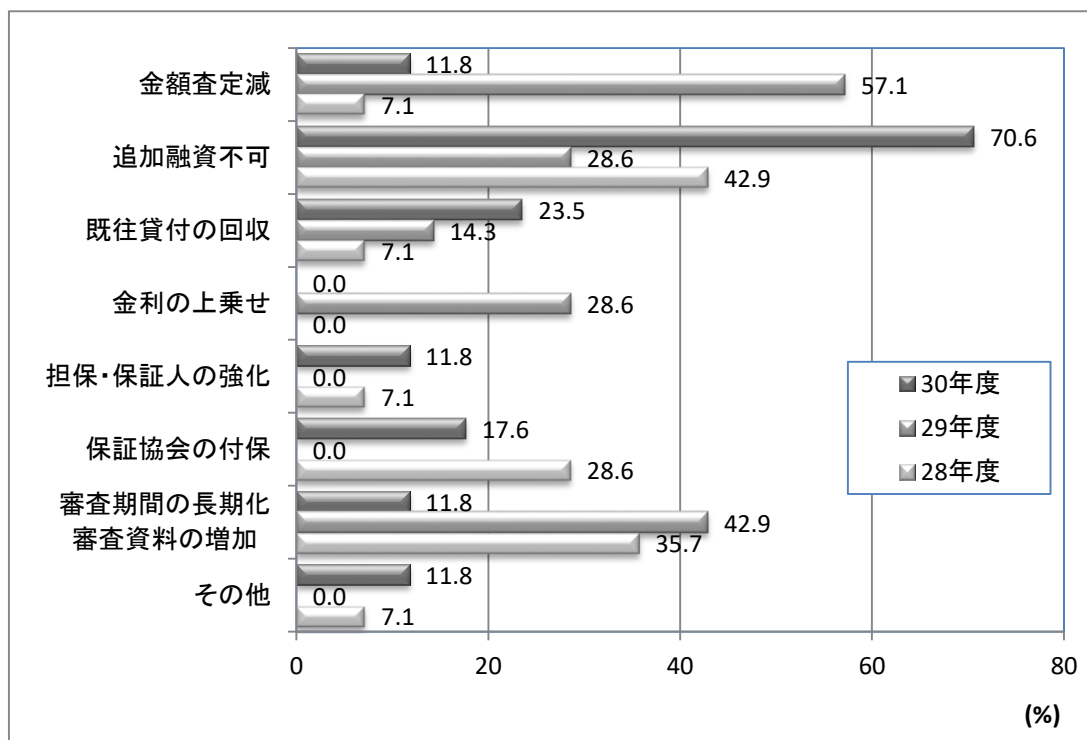
(9) 「貸し渋り」の有無

「ある」が前回より6.7ポイント増加の11.6%。「ない」は6.7ポイント減少の86.3%となった。「ある」を業種別でみると、運輸業、小売業、建設業の順で割合が高い。



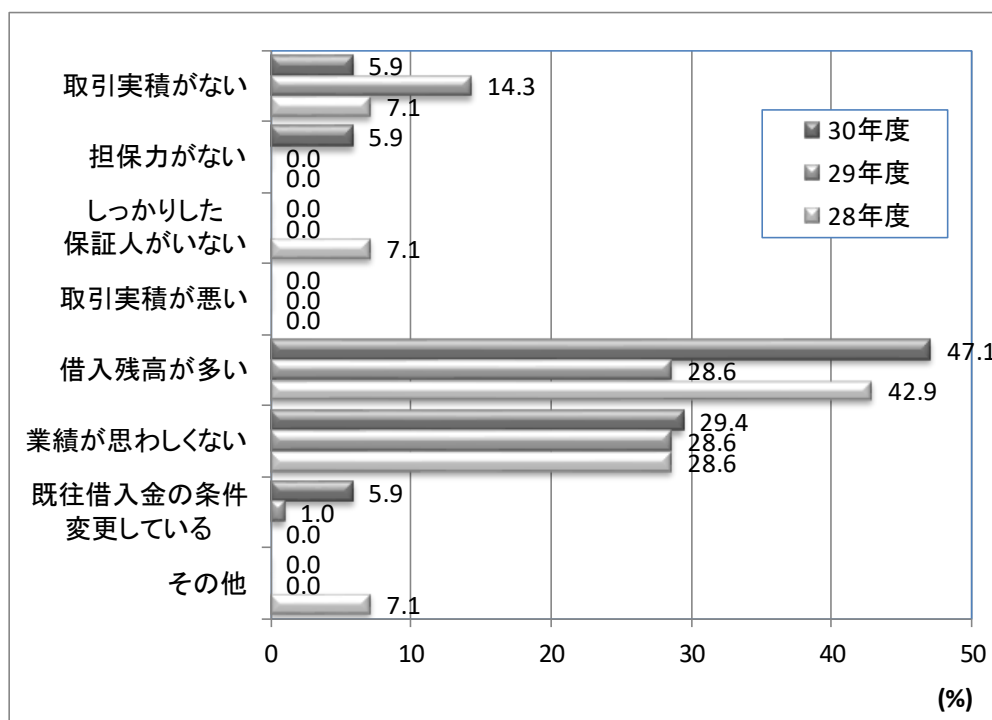
(10) 「貸し渋り」の内容（3つの複数回答）

「追加融資不可」「既往貸付の回収」「保証協会付保」の順が多かった。



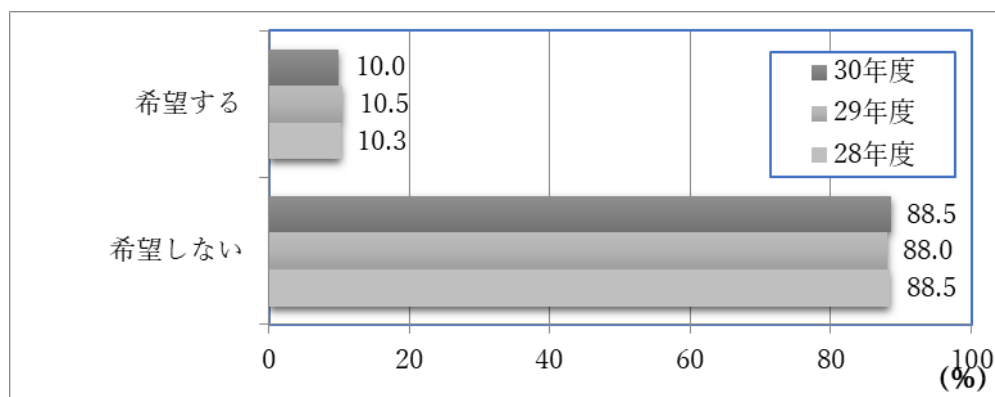
(11) 借りにくい、借りられない理由 〈回答数構成比〉

「借入残高が多い」が47.1%、「業績が思わしくない」が29.4%で、2項目が主要因となっている。「取引実績がない」「担保力がない」「既往借入の条件変更」はそれぞれ5.9%だった。



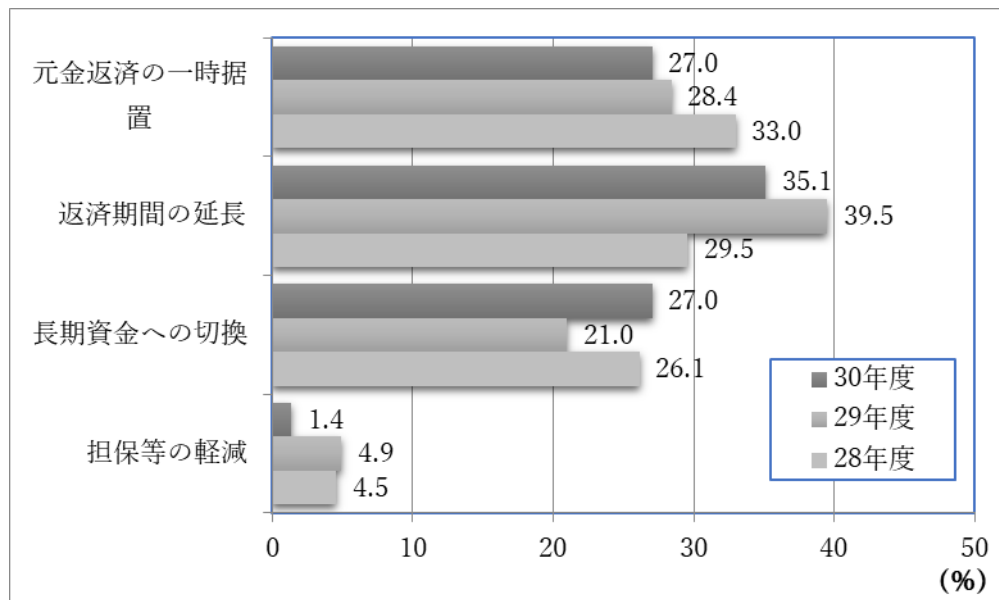
(12) 借入返済の条件変更（希望の有無）

条件変更を「希望する」企業の割合が、前回調査と比べ0.5ポイント減少の10%で、条件変更を「希望する」業種では、卸売業、飲食・宿泊業、小売業の順で高い。



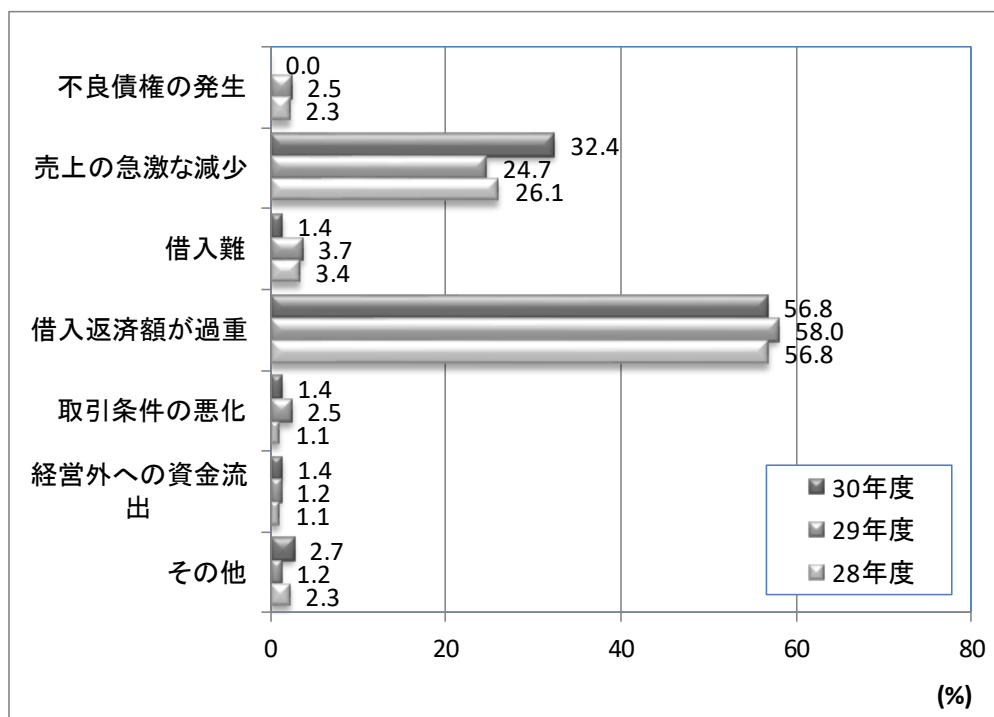
### (13) 希望する条件変更

「返済期間の延長」は 35.1%、「元金返済の一時据置（猶予）」は 27 %、「長期資金への切換」は 27%だった。



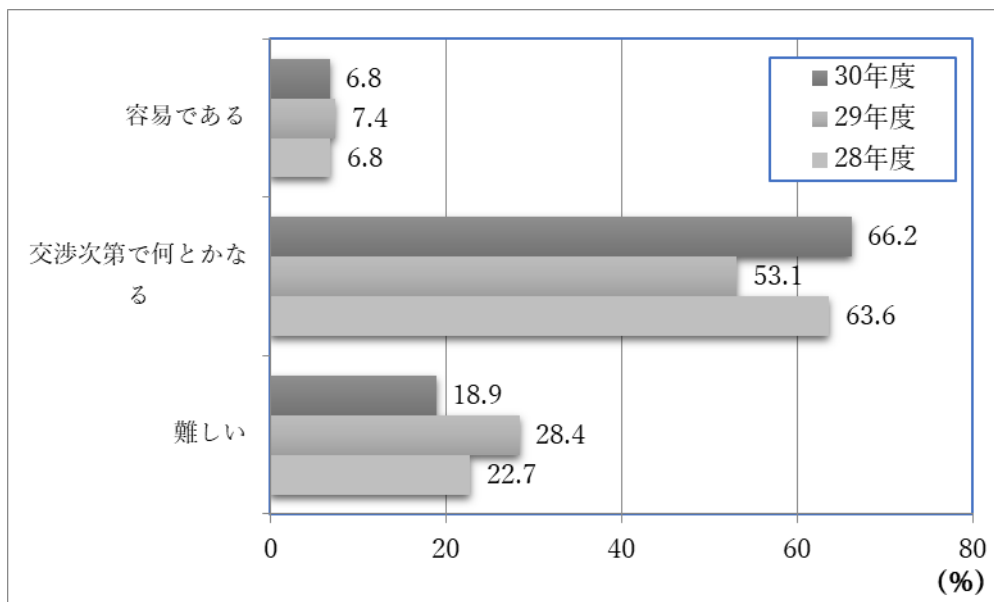
### (14) 条件変更を希望する理由

「借入返済額が過重」が 56.8%と高水準である。「売上の急激な減少」が 32.4%で、条件変更を希望する 2 大要因になっている。



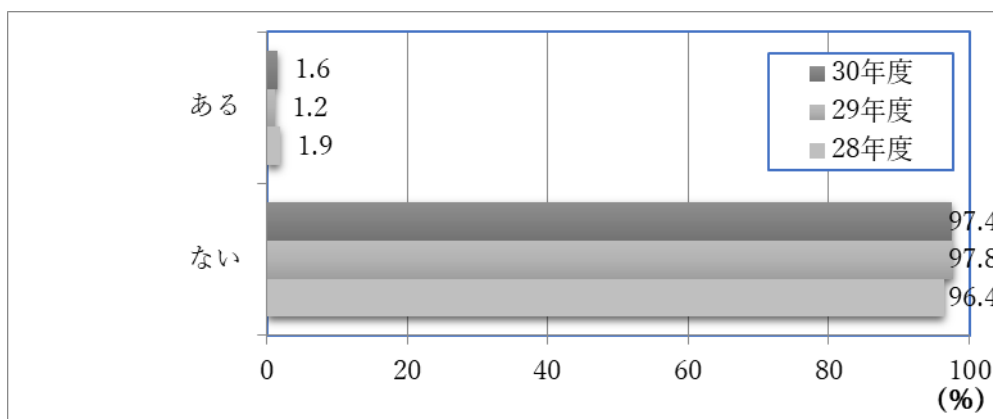
### (15) 条件変更の難易度

前回調査と比べ、「容易である」と「交渉次第で何とかなる」の合計は 12.5 ポイント増加の 73%となる。「難しい」は 9.5 ポイント減少の 18.9%となった。



### (16) 金融機関からの借入金返還要求の有無

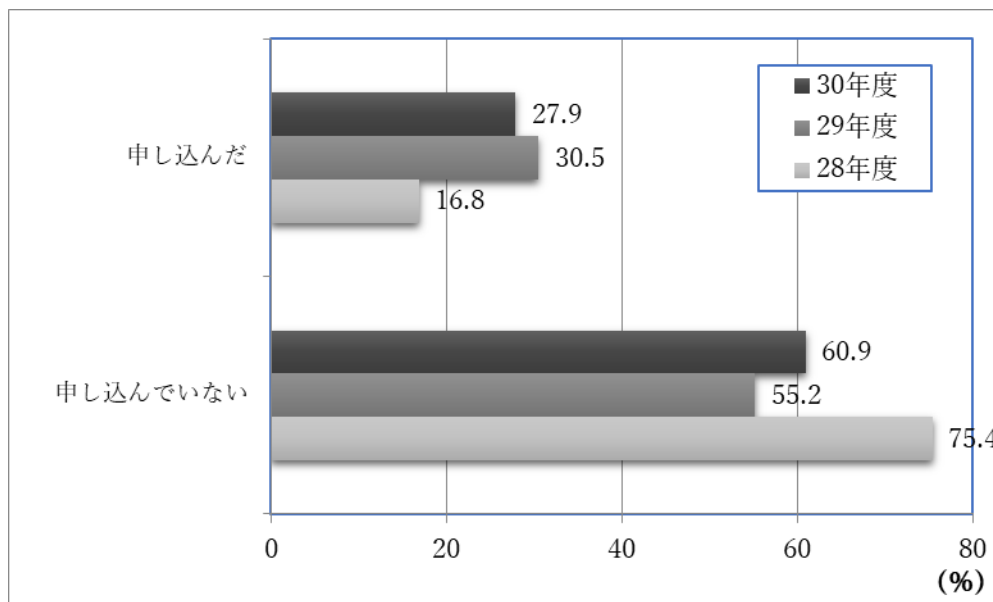
「ない」が 97.4%と圧倒的に高い。



(17) 金融円滑化法終了（平成25年3月）後のことについておたずねします

ア、円滑化法終了後の融資状況についておたずねします

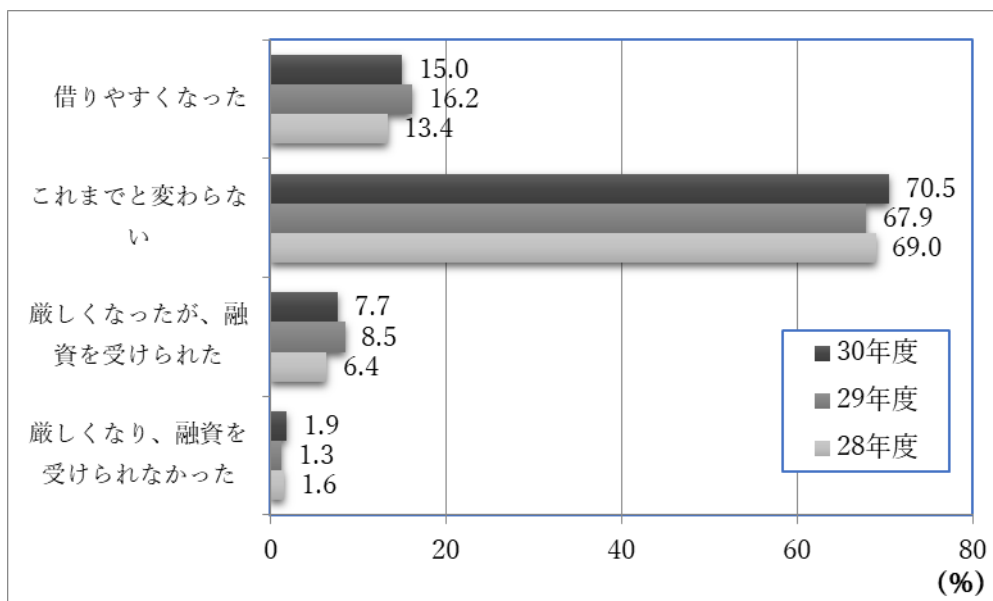
「貸付条件等の変更や新規融資を申し込んだ」は27.9%、「申し込んでいない」が60.9%だった。



イ、金融機関の審査についておたずねします

「借りやすくなった」と「これまでと変わらない」「厳しくなったが、融資を受けた」の合計は93.2%で0.6ポイント増加した。

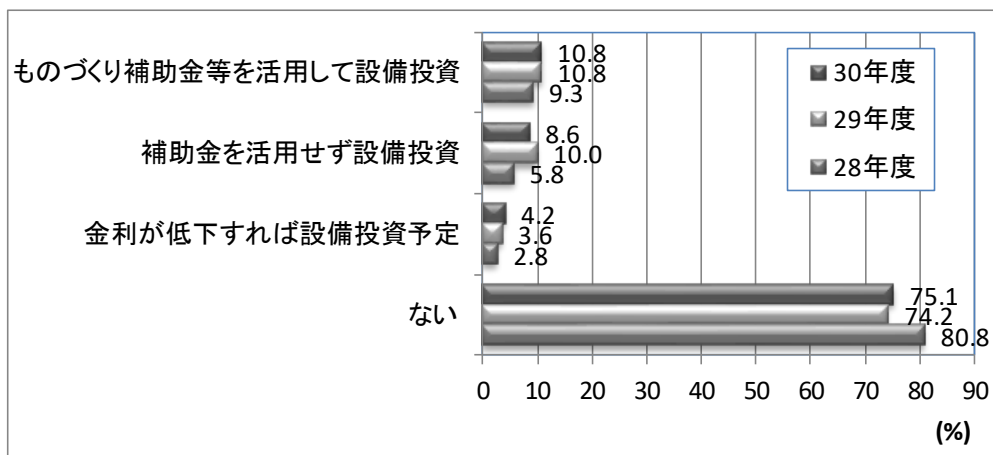
「融資を受けられなかった」は前期比0.6ポイント増加の1.9%となった。



#### 4 借入計画 等

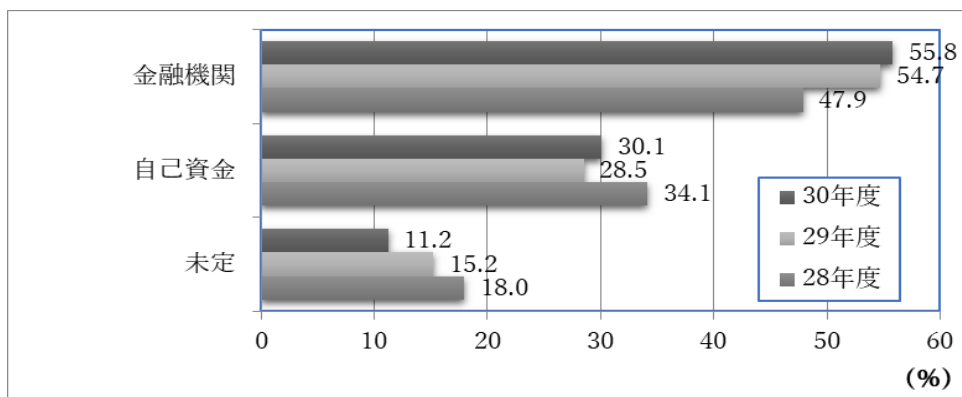
##### (1) 今後の設備投資計画はありますか

「計画あり」の合計が 1.4 ポイント減少の 19.4%、「計画なし」は 0.9 ポイント増加の 75.1%。「金利が低下すれば設備投資予定」は 4.2%(0.6 ポイント増加)で、金利の低下期待がある。



##### (2) 資金調達の予定について

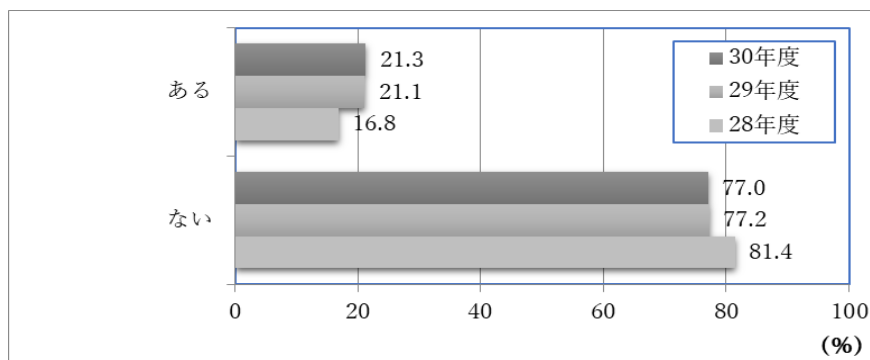
調達先は 55.8%が金融機関だが、自己資金も 30.1%と高水準である。



### (3) 今後1年の借入計画

「借入計画がある」は前回と比べ、0.2ポイント増加し21.3%だった。「ある」を業種別にみると、運輸業、製造業、建設業の順で高い。

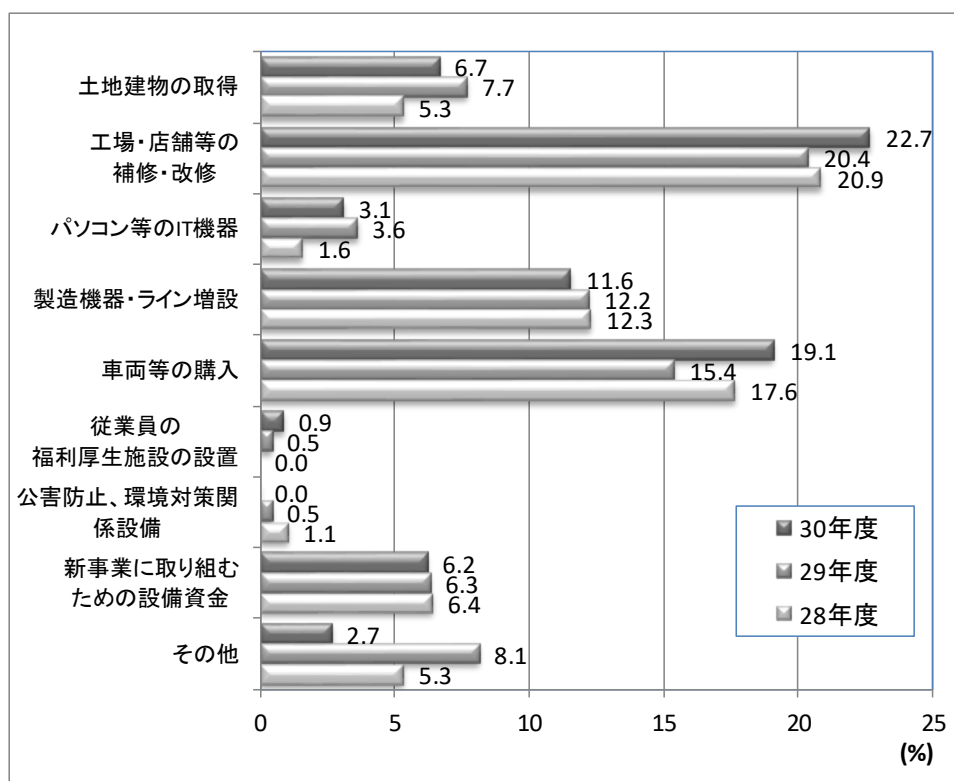
「借入計画がない」は0.2%減少の77%となった。



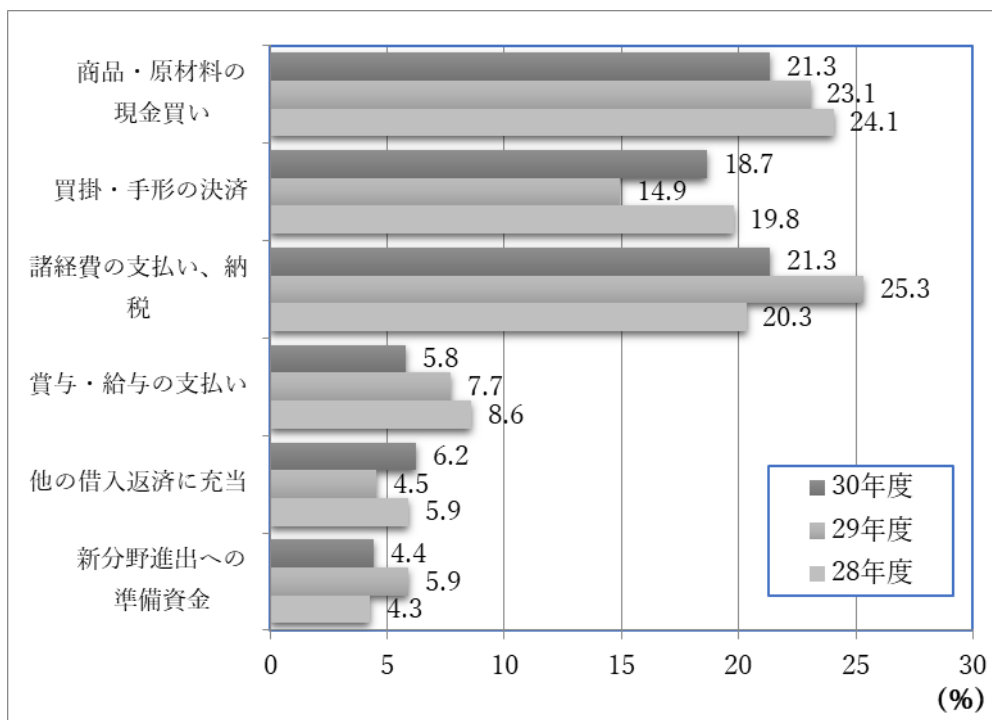
### (4) 借入計画がある場合の資金使途 (未記入除外、回答数構成比)

「設備資金」の資金使途では、「工場・店舗等の補修・改修」「車両等の購入」「製造機器・ラインの増設」等の本業投資が多い。「新事業に取組」は6.2%で前回比0.1ポイントの減少だった。「運転資金」では、「諸経費の支払い・納税」「商品・原材料の現金買い」「買掛金・手形の決済」が多い。「新分野進出への準備資金」は4.4%で1.5ポイントの減少だった。

#### 【設備資金】

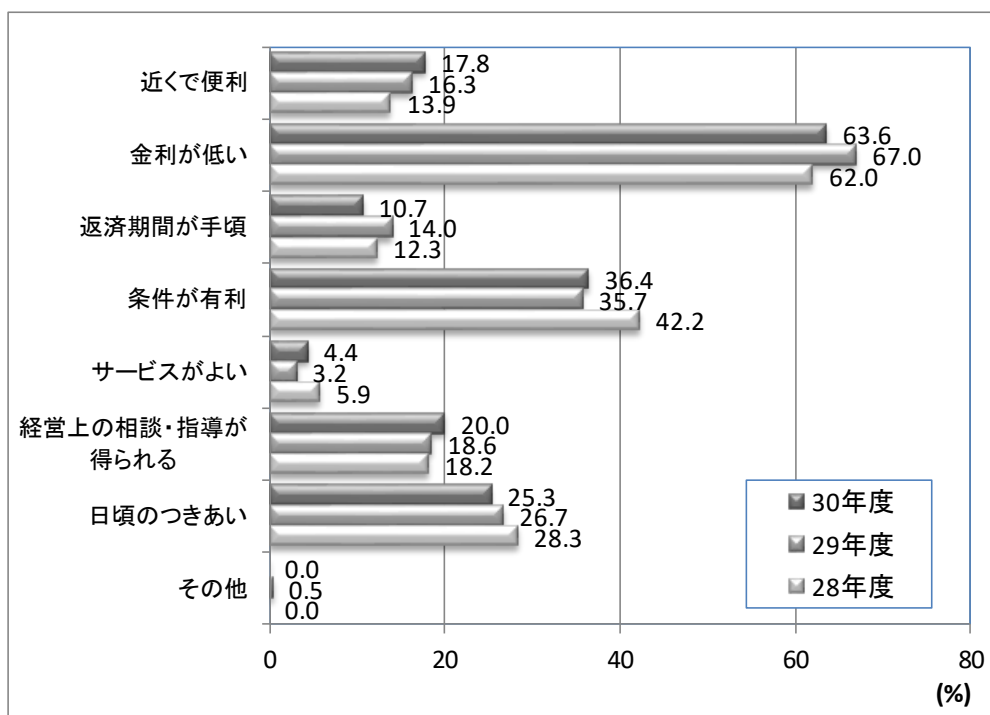


## 【運転資金】



## (5) 借入時の重視条件（2つ以内の複数回答）

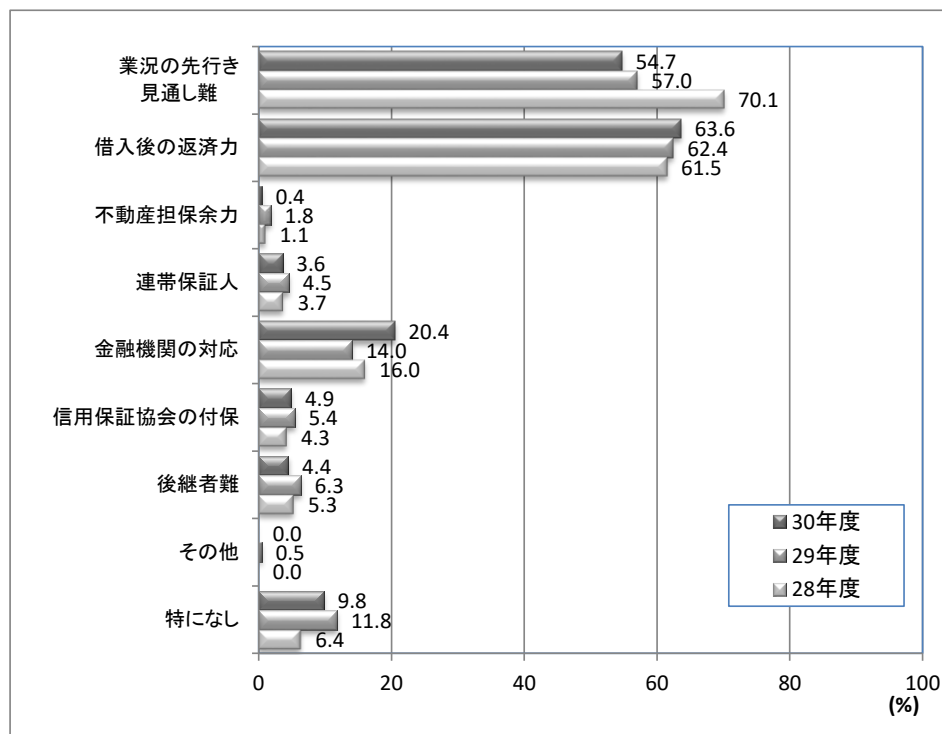
「金利が低い」が63.6%、「条件が有利」の36.4%で取引条件面が重視されている。間接条件の「日頃のつきあい(25.3%)」「経営上の相談・指導が得られる(20%)」も高い水準である。





(6) 借入を考える場合、何が懸念されるか (2つ以内の複数回答)

「借入後の返済力」の63.6%「業況の先行き見通し難」の54.7%が2大懸念項目となっている。「金融機関の対応」は20.4%で6.4ポイント増加した。

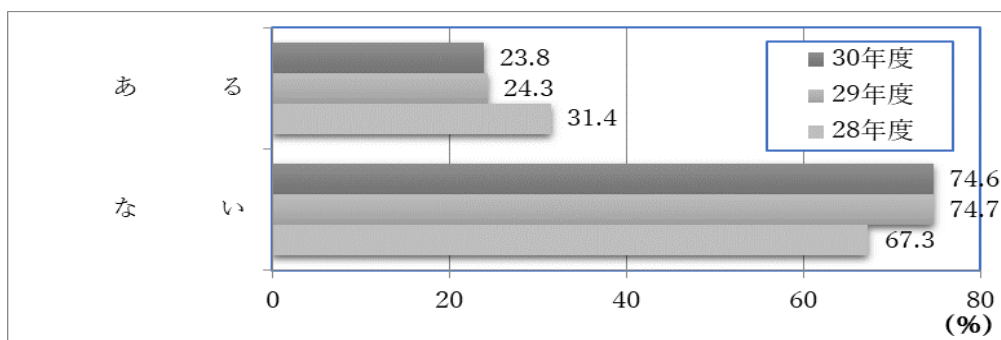


5 融資制度 等

(1) 国・県・市町村の融資制度の過去1年以内の利用状況

前回に比べ、「利用がある」割合は0.5ポイント減少(23.8%)しており、「ない」は0.1ポイント減少(74.6%)した。

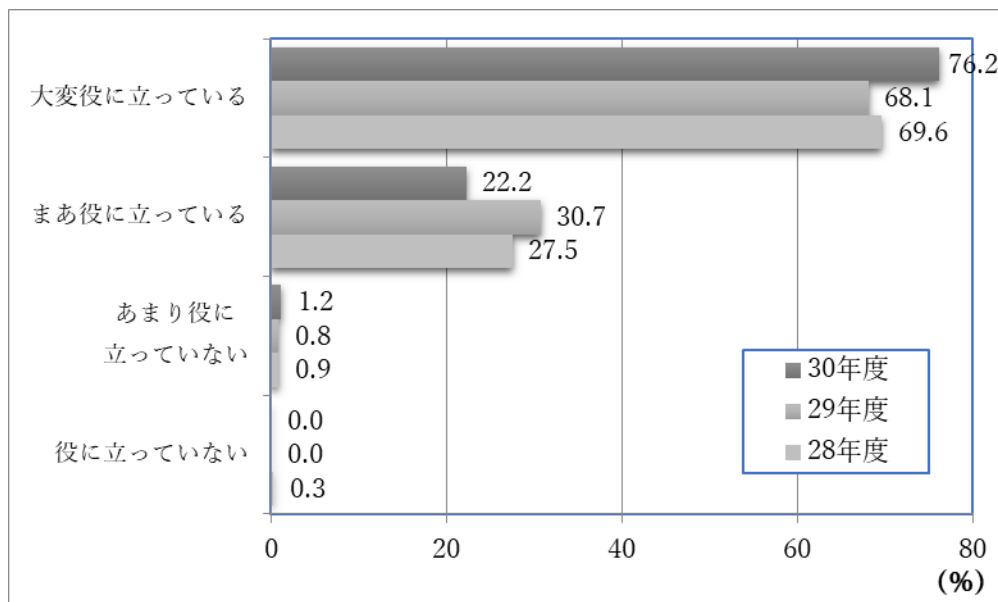
「利用がある」を業種別に見ると、飲食・宿泊業、製造業、建設業の順で高い。一方で「利用がない」の従業員規模別では「0人」の小規模と「16~20人」「21人以上」の大きなクラスが多かった。



(2) 国や県、市町村の融資制度は経営(資金調達)の役に立っていますか

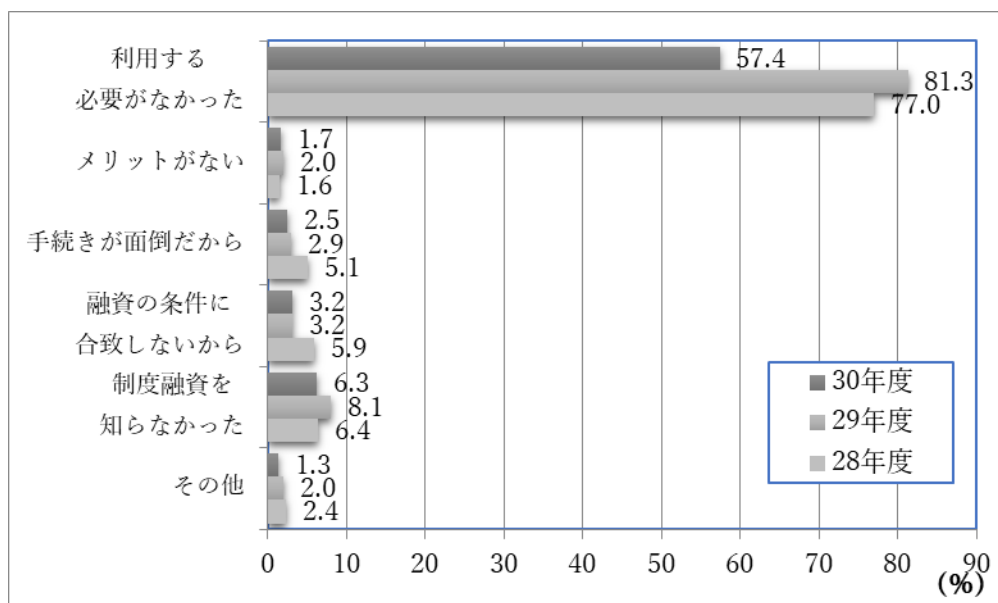
経営に役立っていると回答した企業は、「大変役に立っている」「まあ役に立っている」を合わせて98.4%を占めている。

「あまり役に立っていない」「役に立っていない」は合計で1.2%だった。



(3) 国や県、市町村の融資制度を利用しなかった理由

「利用する必要がなかった」割合が57.4%、「融資条件合致せず」は横這い、「手続きが面倒だから」は0.4ポイント減少、「制度を知らなかった」は1.8ポイント減少の6.3%だった。

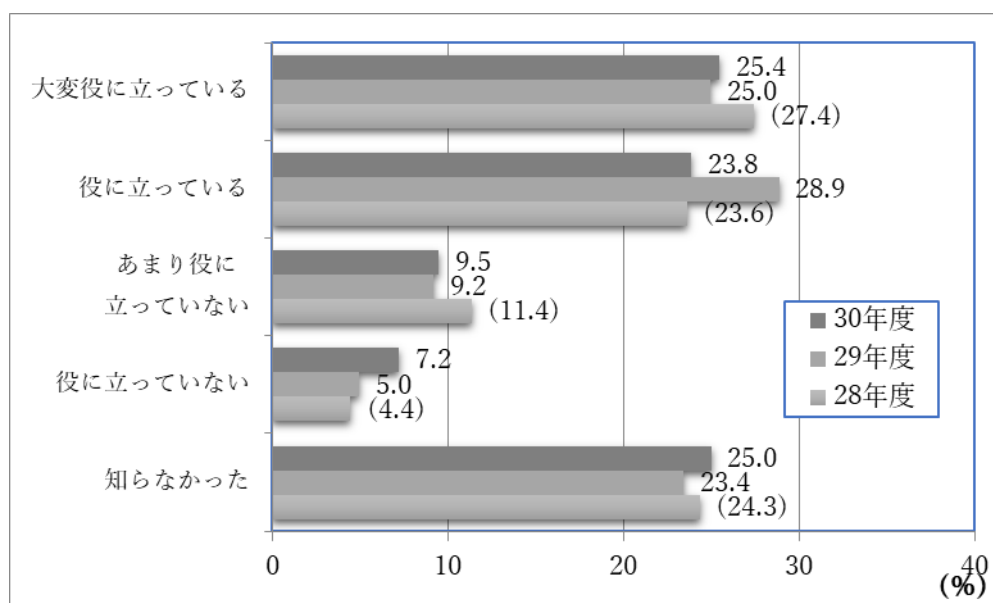


#### (4) 国(政府系金融機関)、県、市町村制度融資について、寄せられた意見

- ・どのような制度があるのか、よくわからない。情報を広く伝えてほしい
- ・融資条件があわない。条件緩和を望む
- ・条件が狭い、準備に時間がかかる、判断が遅い
- ・手続きが大変で時間がかかる
- ・手続きの簡便化
- ・借入期間の引延ばし
- ・利用枠拡大
- ・金利引き下げ(同意見4件、大企業のみ金利が優遇されている)
- ・金融機関経由でなく直貸しできないか
- ・小規模企業向けの融資制度
- ・担保、保証人のいらぬ制度
- ・低利、手続き簡便で感謝
- ・金利が安く借りやすくよかった

#### (5) マル経融資(日本政策金融公庫の公的融資制度)は、経営の役に立っていますか

「大変役に立っている」と「役に立っている」の合計で49.2%と比較的高いが、「知らなかった」が25%と高かった。

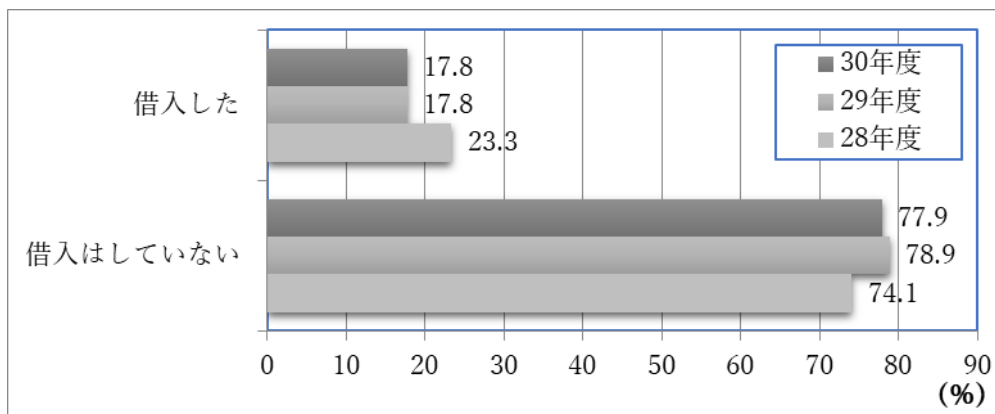


(6) 信用保証協会についておたずねします

ア、最近1年間に信用保証協会の保証付きで借入をされましたか

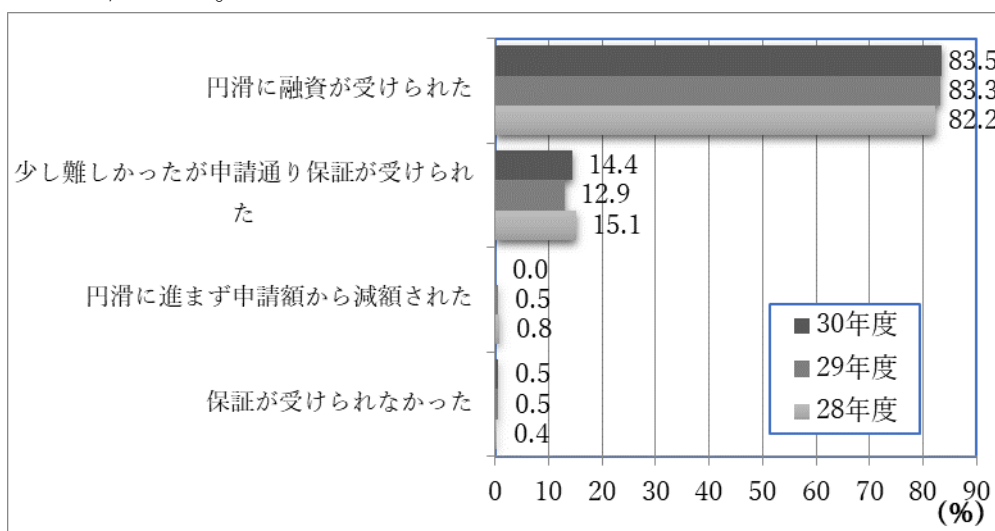
最近1年間に保証付きで借入をした企業は17.8%で前回比で横這い。

借入した業種別では、建設業、運輸業、卸売業の企業数が多かった。従業員規模別では、小規模企業の利用が少なかった。



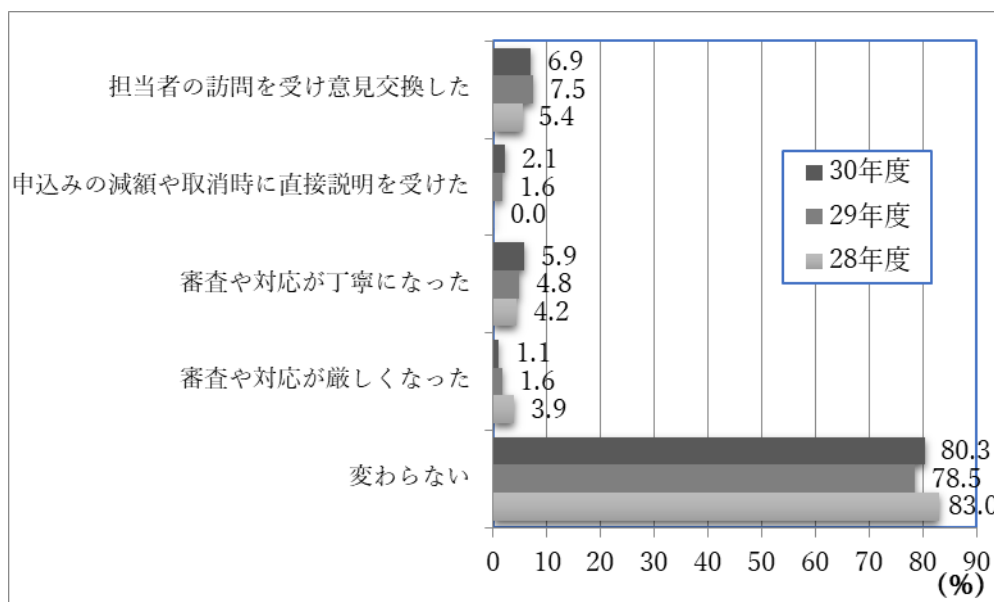
イ、円滑に保証手続きが進みましたか

「円滑に融資が受けられた」83.5%と「少し難しかったが受けられた」14.4%の合計の97.9%が保証応諾となり、「減額された」「受けられなかった」の合計は0.5%だった。



#### ウ、保証協会の態度に変化がありましたか

「変わらない」が80.3%と1.8ポイント増加。「意見交換」や「対応が丁寧」などの評価意見が0.5ポイント増加の12.8%となった。「厳しくなった」は0.5ポイント減少の1.1%だった。



#### (7) 信用保証制度について、ご意見があれば自由にご記入ください

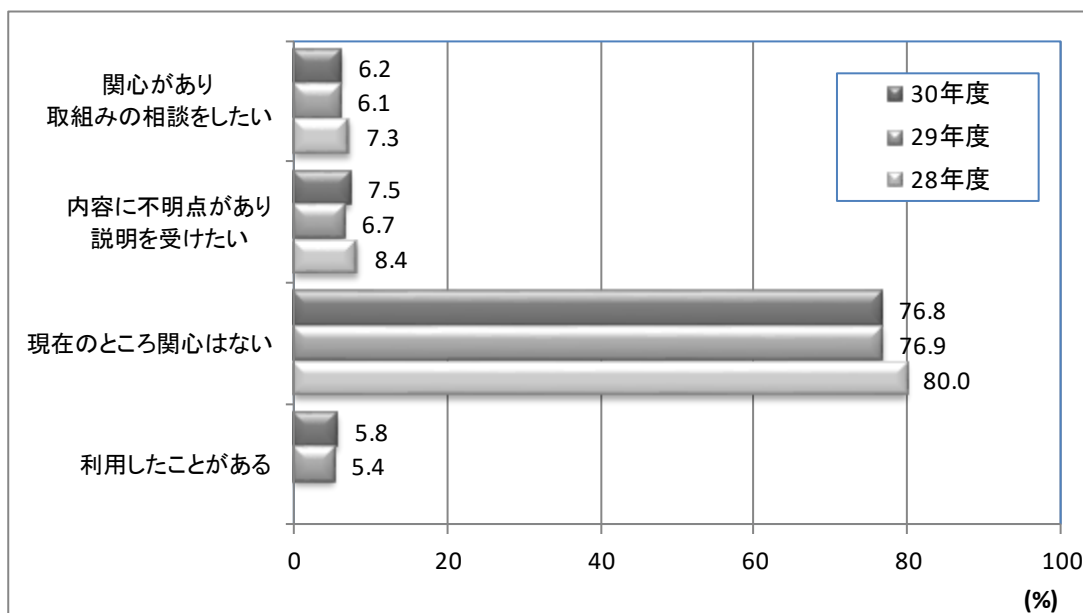
- ・ 高年齢を指摘され、信用保証制度を解消された。
- ・ 制度のことがわからない(同意見他に1件)
- ・ 業績悪化で借りられない。晴れた日にしか傘を貸さないのはおかしい。
- ・ 保証制度は理解できるが、保証料負担がきびしい
- ・ 保証料、金利の引下げ (同意見他に4件)
- ・ この制度で保証人が不要になるならいい制度だが、保証協会に担保、保証人を要求する銀行がある。
- ・ 審査が厳しすぎる
- ・ 銀行が保証協会の保証付きでないと貸さない。金利負担になる
- ・ プロパーで借りている。保証協会のメリットを感じない
- ・ ものづくり補助金申請時に力になってほしい
- ・ 将来、いらぬ制度
- ・ 助かっている

## 6 最近の諸制度についておたずねいたします

### (1) 「中小企業・小規模事業者ビジネス創造支援事業」の専門家派遣について

「利用したことがある」「相談したい」「説明を受けたい」の合計は 19.5%で、前  
比で 1.3 ポイント増加した。

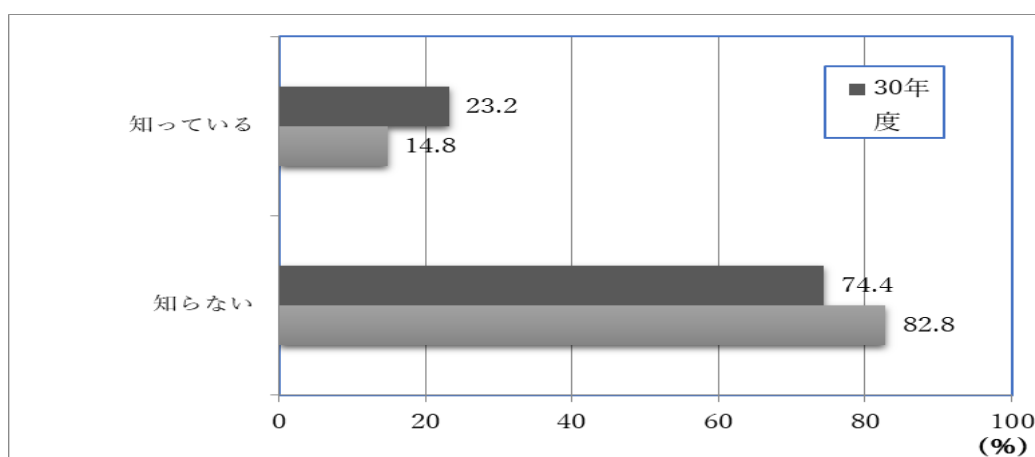
「関心はない」は 76.8%で 0.1 ポイント減少した。



### (2) 事業承継について

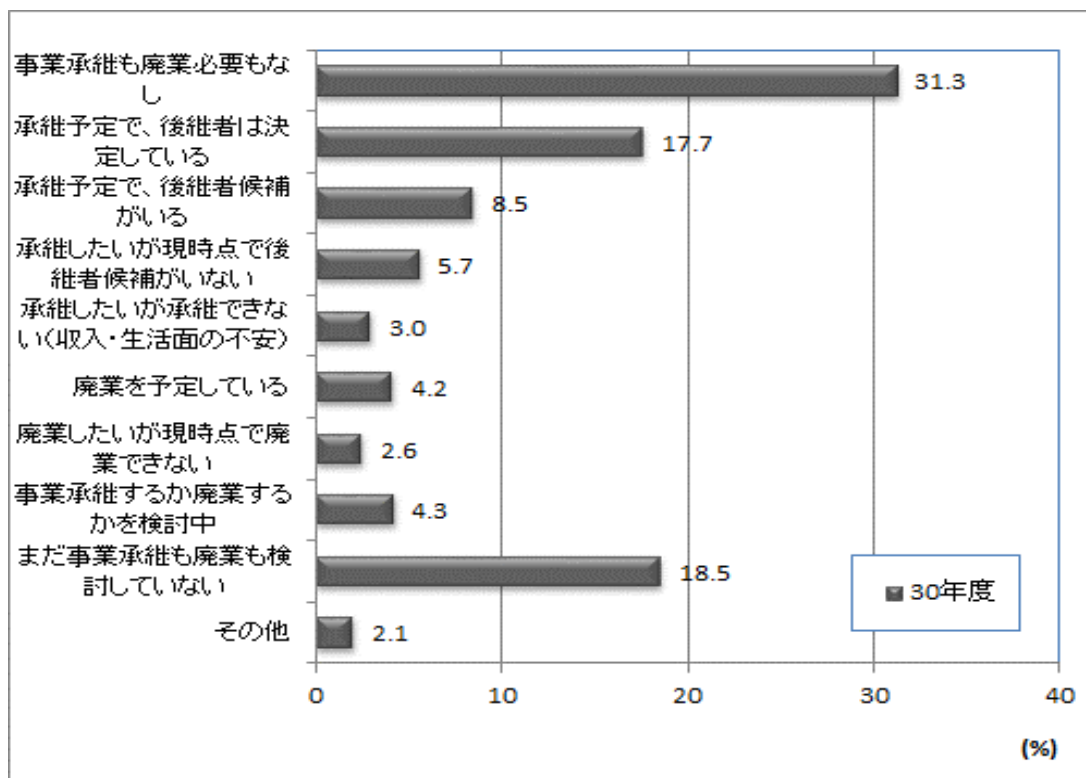
「事業引継ぎ支援センター」を知っていますか

「知っている」は 23.2%で 8.4 ポイント増加した。



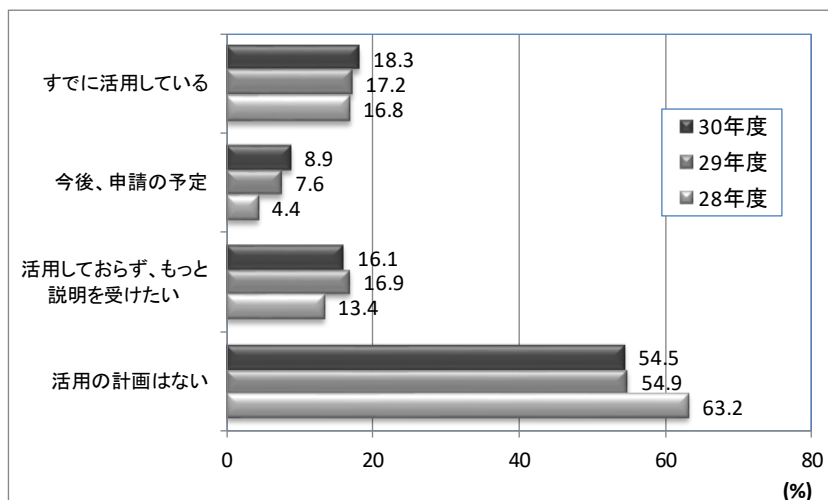
### (3) 後継者対策についておたずねします

「事業承継も廃業も必要なし」と「事業承継も廃業も検討していない」の合計は49.8%。残る全体の約半数が事業承継か廃業を検討中で、うち「後継者決定」「後継者候補がいる」の合計が26.2%となった。「後継者候補がない」「承継したいが承継できない」の合計が8.7%だった。「廃業予定」「廃業したいが出来ない」「事業承継か廃業か検討中」の合計は11.1%だった。



### (4) ものづくり補助金や小規模事業者持続化補助金などの最近の補助金制度について

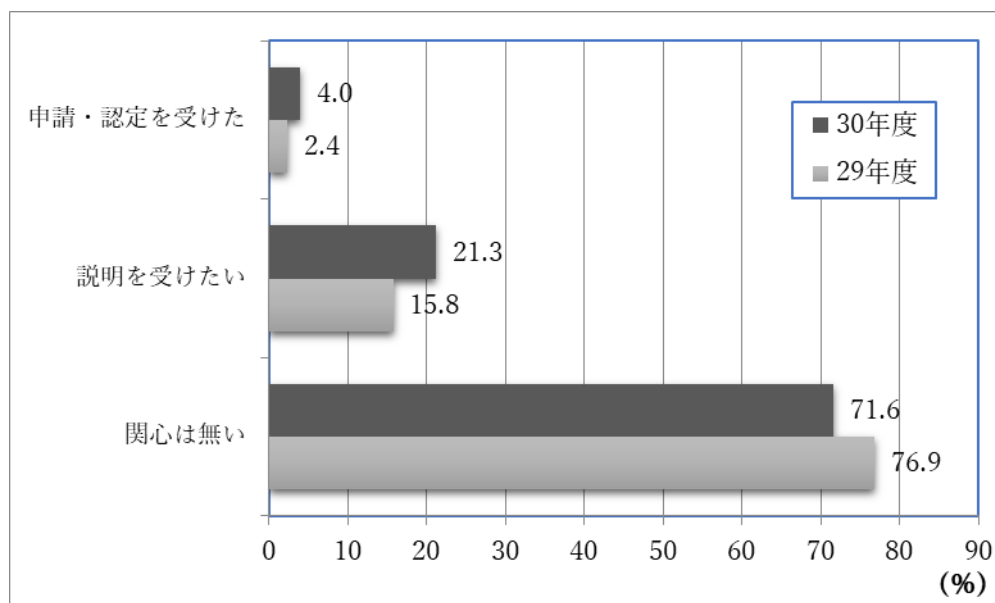
「すでに活用している」と「今後、申請予定」の合計は27.2%で2.4ポイント増加。活用は拡大している。「説明を受けたい」が16.1%だった。



### (5) 経営力向上計画について

(経営力向上計画は平成 28 年 7 月に施行され、認定を受けた場合、固定資産税の軽減支援や金融支援が拡大されました。)

「申請・認定を受けた」「説明を受けたい」の合計は前回比 7.1 ポイント増加の 25.3%と関心度は高まっている。業種別では、製造業、サービス業、卸売業、建設業の順で関心度が高い。



### (6) 商工会に期待する金融円滑化支援策について、自由にご記入ください

- ・ どのような支援制度があるのか、分かるようにしてほしい
- ・ 商工会を頼ったが金融機関で断られた。力になってもらわねば商工会加入の意味がない
- ・ 事業承継で家族に継がせるか悩みあり、支援策や補助金制度を知りたい。
- ・ 金融支援で、銀行以上の権限をもってほしい
- ・ 販路開拓、資金調達等で協力をいただきたい
- ・ マイカーローンの支援があればいい
- ・ 商工会で消費税の引上げ反対をしてほしい
- ・ 商工会の金融活動と銀行借入の違いがわからない
- ・ 金融の使い易い制度への改善を望む
- ・ 金利、保証料の助成制度を検討してほしい
- ・ 円滑な支援をお願いする
- ・ 資金調達に一層の支援を希望
- ・ 個別支援の具体的な機会を増やしてほしい
- ・ いつも親切、丁寧。これからもよろしくお願いします。
- ・ 親身、適切なアドバイスに感謝 (他に同意見 1 件)

以上